

第七十三回帝國議會
衆議院

昭和十二年法律第九十二號中改正法律案
(輸出入品等ニ關スル臨時措置ニ關スル件)

委員會會議錄(速記)第七回

付託議案

昭和十二年法律第九十二號中改正法律案(輸出入品等ニ關スル臨時措置ニ關スル件)(政府提出、貴族院送付)
商業組合法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)
有價證券業取締法案(政府提出、貴族院送付)
受業法案(政府提出、貴族院送付)

會議

昭和十三年三月十五日(火曜日)午後一時三十六分開議

出席委員左ノ如シ

委員長代理 理事高橋 義次君

理事川崎巳之太郎君 理事寺島 權藏君

眞鍋 儀十君 手代木隆吉君

小山倉之助君 渡邊玉三郎君

小林房之助君 木村 淺七君

鈴木 英雄君 板野 友造君

世耕 弘一君 星島 二郎君

伊東 岩男君 田中源三郎君

宮本雄一郎君 岡崎 憲君

松永 義雄君

三月十四日委員池田七郎兵衛君辭任ニ付其ノ補闕トシテ星島二郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ

同月十五日委員西村金三郎君、木村淺七君及岡崎久次郎君辭任ニ付其ノ補闕トシテ小山倉之助君、眞鍋儀十君及本田彌市郎君ヲ

議長ニ於テ選定セリ

三月十五日有價證券引受業法案(政府提出、貴族院送付)ノ審査ヲ本委員ニ付託セラレタリ

出席國務大臣左ノ如シ

商工大臣 吉野 信次君

出席政府委員左ノ如シ

企畫院次長 青木 一男君

商工參與官 佐藤謙之輔君

商工省商務局長 新倉 利廣君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

商業組合法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

有價證券業取締法案(政府提出、貴族院送付)

付)

○寺島委員長代理 是ヨリ開會致シマス、

前會ニ引續キマシテ質疑ヲ許シマス——伊東君

東君

○伊東委員 私ハ商工問題ニハ極メテ素人デアリマシテ、或ハ的外レノ質問ヲ致スカモ

知レマセスガ、ドウゾ大臣及ビ關係ノ政府

委員ノ親切ナル御答辯ヲ願ヒタイト思フノ

デアリマス、尙ホ商業組合ト産業組合ノ關

係ニ付テ言及シタ時ハ、農林當局カラノ御

答辯ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、御提

案ニナツテ居リマスル商業組合法ノ改正法

律案ヲ通覽致シマス、改正要點ハ商品券

及ビ倉荷證券發行制度、無出資組合ノ設立、

強制組合加入命令、統制命令ノ強化、金融

業務ノ擴張、更ニ役員選舉問題、組合員ニ

關スル統制決議權及ビ經費分布權、營業上

ノ債務ノ保證等ガ、重要ナル改正要點デア

ルヤウニ思フノデアリマス、ソコデ從來餘

リ香シキ成績モ舉ゲ得ナカッタ商業組合モ、

此改正ニ依ツテ新味ヲ加ヘラレ、商業組合ノ

機能ガ十分發揮サレテ、商業ノ振興ノ上ニ

大ナル期待ヲ持ツコトガ出來ルト、私ハ思

フノデアリマス

ソコデ先ヅ第一番ニ御聽キシタイコト

ハ、一體我國ニ於キマスル各種ノ組合ノ整

理、統制、協調ノ問題デアリマス、即チ日

本ノ産業ノ生産擴充、統制ノ爲ノ助長、統

制機關ヲ如何ナル機構ニ置クカ、即チ各組

合ト組合ノ協調、調整ヲドウスル、生産者ヨ

リ消費者ヘト云フヤウナ標語ノ如ク單純ニ

ハ行カナインデアリマス

(寺島委員長代理退席、高橋委員長代理

著席)

斯様ニ單純ニ行クモノトスレバ、産業組合、

工業組合ガ直接市場ヲ通ジテ、消費者ヘ物

ヲ賣レバ宜インデアリマスガ、此點ハ如何

デアリマスカ、尙ホ私ハ産業組合、消費組

合、商業組合、工業組合、輸出組合、此五

ツノ組合ガ適切ニ協調並行シテ行ク所ニ、

本當ノ妙味ガアルノデハナカラウカ、斯ク

スルコトガ一番好マシインデアハナカラウカ、

國家ノ産業統制機關モ此點ニ於テ一致協調

シタナラバ如何デアラウカ、斯様ニ考ヘル

ノデアリマスガ、先ヅ此點ニ對スル商工大

臣ノ御所見ヲ承リタイト思フノデアリマス

○吉野國務大臣 私モ御話ノ點ハ御同感デ

ゴザイマシテ、商業組合、工業組合、貿易組合ト云フヤウナモノハ、ヤハリ連絡協調シテヤラナケレバナラス、サウ云フ方針デ仕事ヲ運ンデ居ルノデアリマス、實際モ此三ツノ組合ノ間ニハ、今マデ大シタ相剋摩擦ト云フコトモナイノデアリマス、詰リ問題ハ産業組合トノ關係デゴザイマシテ、其點ニ付キマシテモ、農林當局ト十分打合セヲ致シマシテ、摩擦ヲ少クスルト云フコトニ付キマシテ、出來ルダケ色々コトヲヤツテ居ル、斯ウ云フ狀態デアリマス

○伊東委員 只今御答辯ノヤウニ、一番私

共ノ心配シテ居ル點ハ、商業組合ト産業組合ノ對立摩擦ノ問題デアリマスルガ、是ハ追ッテ段々此點ニ重點ヲ置イテ御聽シタイノデアリマス、併シ其以前ニ一寸私ハ確メテ置キタイ事ガアルノデアリマス、一體日本ノ農村デハ産業組合萬能デ、又農村ハ是デ行クコトガ一番宜イト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、故ニ産業組合ト云フモノハ、今後急角度ノ發展ヲスルコトと思フノデアリマス、之ニ對抗シテ商業組合、工業組合ガ遲滞ナガラ生レタノデアリマスケレドモ、日ガ尙ホ淺イノデ内容ハ洵ニ貧弱デ、世間ノ人モ其效能ヤ將來性ニ向ッテハ相當疑ヲ

持ッテ居ルノデアリマス、又偶々工業組合ガ出

來マシテモ、自由競争弊害防止ノ美名ノ下ニ隠レテ、不當ニ價格ノ吊上ゲラシテ、消費者ヲ困ラシタト云フヤウナコトモ、段々吾々ハ見受ケルノデアリマス、又商業組合モ生産費ノ割高、仕入難ヲ口實ニ値段ヲ上ゲルト云フヤウナ弊害ガアルノデ、ソコデ産業組合ハ自衛的ノ立場ト、農村更生ノ立場カラ致シマシテ、物ヲ安く便利ニ供給致シタイト云フ考デ、産業組合ノ如キガ、利用部ヲ利用シテ、逆ニ例ヘバ肥料ヲ製造シタリ、自轉車ヲ製造販賣シタリ、足袋、石鹼、藥等ニ至ル迄製造ヲ始メルト云フヤウナ始末デ、私ハ此始末ニ對シテハ可ナリ考究スル點ガアラウト思フノデアリマス、之ヲ國家ノ産業ノ上カラ、ドウ云フ工合ニ見ルノデアリマセウカ、日本ハ農業立國デモナケレバ、商工業立國デモナイと思フノデアリマス、少クトモ農工商一體主義デ行カナケレバナラナイノデアリマス、所ガ只今商工省ト農林省ノ色々ナル立場ニ於テ、既往ノ事情ヲ考ヘテ見マスルト、下ノ組合ガ斯様ニ對立シテ居ル以上、此商工省ト農林省ノ對立ト云フモノガアルコトハ、洵ニドウモ好マシクナイ事デアルト思フノデアリマス、ソコデ組合ノ統制、權限確立其他ニ付

テ、ドウ云フ風ニ御考ニナッテ居リマスルカ、重ネテデアリマスルケレドモ、イマ一應御聽シタイト思フノデアリマス

○吉野國務大臣 立場々々ニ依リマシテ、

事ヲ纏メル迄ニハ、意見ノ相違ハアリマスルケレドモ、併シ御話ノヤウナ農林、商工兩省ノ間ニ於テ、大シテ意見ノ扞格ハゴザイマセス、御話ノ通りニ産業立國ト云フ立場カラ、商工農併存シテ行カナケレバナラナイ、隨テ實際問題ト致シマシテ、唯此地方的ニ産業組合ト云フモノノ仕事ノ範圍ガ餘リ廣過ギマシテ、サウシテ地方ノ小賣商ト云フモノニ、少シ壓迫ヲ加ヘルト云フ虞ノアル場合モ實際ハアリマス、サウ云フ場合ニ於キマシテハ、商業組合ト云フモノト、産業組合ト云フモノノ兩方ノ代表者ガ話合

テ、オ互ニ活動ノ分野、事業ノ範圍ト云フモノヲ決メル、斯ウ云フヤウナ方法ヲ取ラシタイト思ヒマス、ソレカラ又色々農業方面ノ原始産業ノ加工品ヲ作ルコトハ産業組合デヤリマスガ、サウ云フ物ノ販路ヲ求メルニハ、成ベク其地方ノ商業組合ト連絡ヲ取ッテ、生産ノ方ハ産業組合デヤルガ、販賣ハ商人ノ技術經驗ヲ利用シテヤルト云フヤウナ方針デ問題ヲ片付ケタイト云フコトデ、兩省ノ方針ハ決ッテヤッテ居ルノデアリマス、

唯地方的ニ言ヘバマダ其方針ガ徹底セズシ

テ、具體的ノ問題デ多少ノ摩擦相剋ガアルヤウデアリマスガ、サウ云フ問題ガアリマス度毎ニ、兩省ノ方デ話合ヲ付ケテ行フ、斯ウ云フコトニ致シテ居リマス

○小山委員 簡單ナ關聯質問デスガ、農林

省ハ生産ノ方ヲ成ベク取扱ッテ、輸出サレルヤウナ物ハ、商工省ノ方ノ輸出組合デ行クベキノガ當然デハナカラウカト思ヒマサガ、マダ其間ニ連絡ノ取レナイ點ガアルノデアリマスカ

○吉野國務大臣 大體サウ云フ積リデゴザ

イマスガ、蜜柑ノ問題ニ付キマシテ、是ハ御承知ノ通り數年來ノ問題デアリマスケレドモ、正直ニ申上ゲマスレバ、餘程兩方デ歩ミ寄ッテ協調シテヤッテ居ルノデアリマスケレドモ、多少其點ニ付テマダ解決シナイ問題ガ殘ッテ居リマス、併シ是ハ多年纏レタ事情ガゴザイマスノデ、サウ簡單ニ行キ惡イ點モゴザイマス、折角其點モ綺麗ニ致シタイト努力シテ居リマス

○小山委員 ソコデ一ツ御注意ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、牡蠣ヲ海產物トシテ非常ニ獎勵シテ居リマスガ、之ヲ輸出スル場合ニ最近輸出組合ヲ作ッテ居リマス、所ガ此輸出組合ノ連中ハ、外國貿易ニ慣レナイ爲ニ、其

間ニ非常ナ支障ヲ來シテ居ルヤウデアリマスガ、若シ出來得ルコトナラバ、農林省デ獎勵シタ海產物デ、若シ之ヲ外國ニ出ス場合ニハ、ヤハリ商工省デ輸出組合ナリヲ御監督下サツテ、同時ニ又之ヲ獎勵シテ下サルト云フコトハ、時宜ニ適シタ事デハナイカト思ヒマスカラ、此點ハ御答辯ヲ求メマセヌガ、御考慮ノ中ニ入レテ置イテ戴キタイト思ヒマス

○伊東委員 先程ノ商工大臣ノ御答辯ノ御氣持ハ能ク分ッテ居リマス、御方針モ左様ダト思ッテ居リマスケレドモ、實際地方デハ左様ニ行ッテ居ラナイノデアリマス、産業組合ト商業組合ノコトニ付テハ、更ニ後デ御尋致シマス、ソコデ私一番心配シテ居ルコトハ、下ノ組合ト組合トニ左様ナ摩擦ガアルバカリデナクテ、實際ハ農林省ト商工省ニ相當ナ對立摩擦ガアルト思ッテ居リマス、併シ此點ハ大キナ國策デアリマスノデ、段々其點ガ修正サレルコトハ、洵ニ結構ナ事デアリマス、今朝ノ新聞ヲ見マスルト、例ヘバ肥料ノ專管ヲ農林省ニヤラセル、實際ハ商工省ト農林省ト兩方ニ跨ッテ居リマシテ、所謂生産關係ト消費關係トガ、互ニ權限爭ヒヲ致シテ居リマシテ、統制ノ上ニモ洵ニ支障ガアツタノデアリマスケレドモ、斯様ナ

問題ナドガ、段々解消妥協ガ出來ルト云フヤウニ、將來根本的ニ斯ウ云フヤウナ所カラ修正シテ戴カナイト云フト、如何ニ大臣ガ方針デケテ御示ニナリマシテモ、事實ニ於テハ中々皆ク行カナイト思フノデアリマス、此點ニ付テハ色々意見ヲ持ッテ居リマスケレドモ、意見ニナリマスルカラ、本日ハ申サナイコトニシテ、更ニ質問ヲ進メテ行キマスルガ、一體日本デハ消費組合ト云フモノハ、全ク發達シテ居ラナイノデアリマス、併ナガラ産業組合ガ所謂購買販賣事業ヲヤツテ居リマスカラ、農村ノ消費調整ノ大部分ヲヤツテ、消費組合ノ使命ノ一ツヲ果シテ居ルノデアリマス、イマ一ツハ商業組合ハ生活品、日用品其他一切ノ配給事業ヲヤルノガ商業組合デアリマシテ、隨テ消費組合ノ大部分ノ使命ヲ是デ果シテ行クト云フ、斯ウ云フ風ナ形式ニナラウカト思フノデアリマス、所デ此消費組合系統ヲ將來ハ外國ノヤウニ、消費組合ト云フモノヲ拵ヘズニ、サウ云ツタヤウナ方針デ行カレルノデアリマスルカ、又將來ニ於テハ消費組合制度ト云フモノニ向ッテ、當局ハ何等カノ御考慮ガアルノデアリマスカ、是ガ一ツデアリマス、モウ一ツハ同業組合ノ問題デアリマスルガ、海陸兩棲トモ言フベキ、即チ産業

組合ニモ付カズ、商業組合ニモ付カズ、工業組合ニモ付カナイモノデアッテ、商業、工業組合トガ對立ノ關係トナツタ此同業組合ヲ、如何ニスルカト云フ問題デアリマス、此點ニ向ッテハ昨日原委員カラ、熱心ナル同業組合ノ再認識論ガアツタノデアリマス、其御話ノ中ニハ傾聴スベキ點モアツタノデアリマスルケレドモ、私共ハドウモ同委員ノ御意見ト一致スルコトガ出來ズ、寧ロ反對ニ私共ハ考ヘテ居ルノデアリマス、私ハ此同業組合ト云フモノニハ特長モアルカラ、其特長ハ認メネバナラヌケレドモ、寧ロ將來ハ此特長ヲ商業組合、工業組合ニ織込ンデ、サウシテ同業組合ト云フモノヲ整理統制シテ、一貫シタ強い機構ニ改組サレタラドウカト思フノデアリマス、此點ニ對スル御所見ヲ承リタイト思ヒマス

○吉野國務大臣 後段ノ御質問ニ付キマシテハ、昨日私ノ意見モ大體サウ云フ考デアルト云フコトヲ申上ゲマシタ、ソレカラ前段ノ商業組合ト消費組合トノ關係ニ於キマシテハ、配給機關ト云フ形カラ申シマス、御説ノヤウナ見解ガ出ル譯デアリマスガ、併シ商業組合ノ方ハ配給機關タル中小ノ小賣業者ト云フ一ツノ社會階級トシテノ中産者ノ維持發展、斯ウ云フ觀點デ商業組合ト

云フモノガ御承知ノ通り出來テ居リマスルノデ、其働キガ偶、消費組合ト云フモノト同ジヤウナ働キヲシテ居ルト云フコトハ、御説ノ通りデアリマスガ、思想ガ違ヒマスノデ、私ハ餘リ深い理論上ノ研究ヲ實ハ能ク致シテ居リマセヌケレドモ、兩々相俟ッテ行クベキモノダ、決シテ此商業組合ガ消費組合ニ變ルトカ、或ハ消費組合ガ非常ニ發達シテ來レバ、商業組合ガ要ラナイトカ云フヤウナモノデハナイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○伊東委員 大臣ガドウモ餘リ深く御答辯ニナリマセヌ、是同業組合ノ關係モアルカラ、御答辯ニナラヌカモ知レヌト思ヒマス、成ベク同業組合關係ハ深入リセヌ方ガ、此商業組合ノ此法案ヲ成立セシメル上ニ於テハ都合ガ好イトモ考ヘマシテ、其點ハ商工省ニ非常ナ同情ヲ持ッテ居リマスケレドモ、モウ少シ同業組合トノ關係ヲ質シテ置キタイト思フノデアリマス、消費組合ノ問題ニモ大臣ハ餘リ觸レラレマセヌケレドモ、是ハマア將來ノ問題トシテ多クヲ論ジマセヌ、同業組合ハ昨日モ御話ニナルヤウニ組合員ガ協力一致シテ營業上ノ弊害防止ヲスルト云フコトガ其目的デアリマス、所謂精神結合團體デアアルノデアリマス、先程御話ノヤウニ商業組合ハ中小商工業者ヲ

目標トシタ、所謂經濟活動ヲ以テ組合員ノ營利助成ヲ目的ト致シテ居ルノデアリマス、今回御改正ニナツタ此商業組合ノ中デ、無出資組合ノ制度ヲ設ケラレタノデアリマスルガ、此點ハ私ハ大賛成デアリマス、所デ此精神ハ全ク私ハ同業組合ノ精神ニ基イテ出發シタモノト思フノデアリマシテ、隨テ同業組合ハ將來無用デアルカラ必要ハナイ、尙ホ是バカリデナクテ、同業組合トシテハ色々功績ヲ申上ゲマス、明治三十一年以來三十年ノ長キ歴史ヲ持ッテ居リマス、相當商業界ニハ活動ノ功績ヲ遺シテ居ルノデアリマスケレドモ、時代ハ時代デ進マナケレバナラヌト云フノガ私ノ考デア、尙ホ同業組合ノ主ナル仕事トシテハ、商品ノ規格統一ト云フヤウナ目的カラ致シマシテ、檢査事業ヲ主ナルモノトシテ居ッタノデアリマス、是等ノ檢査モ今ハ地方デハ殆ド縣營ニ移サレタノデアリマシテ、更ニ商業組合ガ今度法律ガ改正サレテ一層強化サレルト云フコトニナルト、將來同業組合ノ活動範圍ト云フモノモ全ク縮小サレルノデアリマス、尙ホ今日及ビ將來全ク此存在ノ意義ガナイヤウニナルト私ハ思フノデアリマス、私ノ縣ニモ非常ニ好イ例ガアリマスガ、由來私ノ縣ハ木炭ヲ非常ニ產出スルノデアリマシ

テ、一縣單位ノ木炭同業組合ト云フモノガアリ、又椎茸ノ如キモノモ大キナ組合ガアッタノデアリマス、是等ノ兩組合トモ主ニ木炭若クハ椎茸ノ檢査ヲ目標トシテ、サウシテ檢査料ヲ取ッテ組合ヲ維持シテ來テ居ッタノデアリマス、檢査ヲシテ手数料ヲ取ルト云フコトガ、同業組合ノ目的ノヤウニナッテシマッタノデアリマス、所デ是ガ公益ノ立場カラ縣營ニ移サレマシタ結果、全ク同業組合ノ機能ト云フモノガナクナルバカリデハナクテ、今デハ有名無實ニ存在シテ居ルノデアリマス、寧ロ私共カラ言ヘバ、一刻モ早ク斯様ナモノハ——只今デモ組合費ヲ徴收シテ居リマスガ、解散スベキモノデハナカラウカト思フノデアリマス、尙ホ又私ノ郡ハ有名ナル山林國デアリマスガ、所謂郡ヲ一單位トシテ山產物同業組合ト云フモノガアリマシタ、所デ經濟活動ガ出來ヌモノデアリマスカラ、商業組合ニ變更シテ、只今相當ナル活動ヲスルヤウニナッテ參ッタノデアリマス、無論此組合ノ如キハ、所謂同業組合時代モ相當活動ヲシテ居リマシタケレドモ、經濟行爲ヲ伴フヤウニナッテ一層活動スルヤウニ相成リマシタ、ソコデ同業組合ノ既往ノ歴史ニ考ヘテモ、其特長モアルケレドモ、時代ハ時代デ進ンデ行カナケレ

バナラナイト私ハ考ヘマス、ソコデ先程カラ申上ゲルヤウニ、ヤハリ商業組合ト工業組合ニ織込ンデ助長スル方ガ宜イト私ハ考ヘルノデアリマス、併シ先程ノ大臣ノ御答ハ、先ヅ私ノ意見ト一致シテ居ルヤウデアリマスケレドモ、本當ノコトヲ申上ゲマスト、同業組合ニ對シテ長イ歴史ヲ持ッテ居リマスカラ、コ、ダケデ存在ヲ認メテ置クト云フ位ノ氣持デハナカラウカト思フノデアリマス、本當ノ肚ノ中ヲ割ッテ下サルナラバ、寧ロ不用ダト云フ結論ニ、大臣モ商工省關係者全部、サウ云フヤウナ御積リデハナカラウカト思フノデアリマス、ソコデ私ハ斯ウ云フ革新スルヤウナ適當ナ時期ニコソ、斯ウ云ッタヤウナ問題ハ逡巡セズシテ、思切ッテ整理スベキモノハ整理シテ商業組合、工業組合、産業組合、輸出組合ト云フヤウナ工合ニ、截然タル根本的ノ方針ヲ御立テニナルコトガ非常ニ必要デア、同業組合ノ如キ整理シタイト云フ氣持デ居ラレルナラバ、寧ロ蛇ノ生殺シミタヤウナモノデアリマスカラ、方針ヲハッキリ定メ、而シテ整理スルナラバ思切ッテ整理スルト云フコトガ非常ニ必要デア、同時ニ只今ノ商業組合デハ、中小商工業者ヲ救済シ、營業ノ助長等ハ到底出來ナイノデアリマスルカ

ラ、其代リニ商業組合ニモモット金ヲ御使ヒニナッテ、徹底シテ助長ヲヤツテ、産業組合ガ農村デ非常ナル働キラシテ、農民ノ經濟更生ニ寄與シテ居ルヤウニ、是ト併行サシテ中小商工業者ヲ救ハレルト云フコトガ、非常ニ必要ナコトダト思フノデアリマスルガ、之ニ對スル商工省ノ御方針ヲ承リタイ

○吉野國務大臣 同業組合ガ全然無用ノモノダト云フマデニハ考ヘテ居リマセヌ、併シ御話ノ通り段々事業ノ範圍ガ時勢ノ變遷ニ從ヒマシテ狭クナッテ來テ居ルト云フコトハ、私モ認メテ居リマス、ソレデアリマスカラ昨日モ申上ゲマシタ通り、商工省トシテハ夙ニ大正ノ末、昭和ノ初ニ組合法制ハ一本ニ整理スルノダト、斯ウ云フ案マデ世間ニ發表シテ居ルノデアリマスカラ、大體御所見ト餘リ變ラナイ考ヲ持ッテ居リマス、ソレデ同業組合ノコトニ付キマシテハ、私ハ又別ノ觀點カラ大イニ考ヘテ見ル必要ガアリハセヌカト、斯ウ考ヘテ居ルノデスガ、大體昨日申上ゲマシタ所デ、御諒承ヲ願ヒタイト考ヘマス

○伊東委員 ドウモ其點ハ非常ニ大臣御遠慮ニナリマスルカラ、寧ロ私モ遠慮シタ方ガ、本法案成立ノ上ニ都合ガ好イカトモ思

フノデアリマス、委員ノ中ニハ大分同業組合ヲ支持シタイト云フヤウナ御意見ノ方モ、段々居ラレルカト思ヒマスルガ、是以上追究スルコトヲ止メマス、一寸私御断リ申上ガテ置キマスルガ、此同業組合ガ無用ダト云フヤウナ言葉ヲ使ヒミシタケレドモ、マア在ッテモ邪魔ニハナラスノデアリマスカラ、私モ大臣ノヤウニ無用ダトハ思ヒマセヌケレドモ、少クトモ日本ノ産業ノ統制ノ上ニ、組合主義ト云フモノヲ採用スルナラバ、玆ニ組合ノ截然タル一ツノ方針ヲ決定サレナケレバ、同業組合ニ對シテハ私共ノヤウナ意見ヲ持ッテ居ル者ガ多々益々多イダラウト思フノデアリマスルカラ、ドウカ方針トシテモ、以前サウ云フ工合ニ御立デニナッタヤウナコトガアルヤウニ承リマスルノデ、此點ヲ特ニ御願ヲ致シテ置キマスル爲ニ、私一ツ玆ニ御参考ニ申上ガ、且ツ商工省ノ御方針ヲ承ッテ置キタイノデアリマス

今度ノ改正ニ依ッテ、第十五條ノ無出資組合ノ設立ノ途ヲ開カレタコトハ、先程カラ申上ゲルヤウニ、同業組合整理ノ一ツノ目標ニナルノデアリマスルガ、是ハ如何ニ辯明サレテモ、私ハ斯様ナ確信ヲ持ッテ居リマス、又斯クスルコトガ宜シイノデアリマス、玆ニ面白イ例ガアルノデアリマス、私

ハ宮崎縣ノ自轉車組合ノ聯合會長ヲ致シテ居リマスルガ、此組合ハ全クノ自治統制ニ成功シタ組合デアリマス、確ニ成功ト認メ得ルト思ヒマス、此組合ハ一縣一區域ト致シテ居リマシテ、組合員ヲ六百人持ッテ居リマスガ、商業組合デモナケレバ、同業組合モ適用シテ居ナイ、全ク自治的ノ申合せ組合デアリマスケレドモ、只今ノ所ハ一絲不紊レズ統制ヲ執ッテ居リマシテ、縣内ノ同業者デ唯一人モ加入シテ居ラナイ者ハナイノデアリマス、而モ一厘ノ出資モ致シテ居ラナイノデアリマス、又一厘ノ組合費ノ徴收モ致シテ居リマセヌ、事業ハ全クノ自治的ノ統制ニ出發シテ居リマシテ、主トシテ營業上ノ補強統制、業務統一ノ強化ヲ第一義ト致シテ居リマス、サウシテ事業トシテハ販賣品ノ價格統制、修繕料ノ料金統一、店員ノ慰安、公休日ノ制定其他共濟事業等ヲ致シテ居リマスガ、只今ノ所デハ組合員中一人ノ統制ヲ破ルヤウナ者モナク、洵ニ圓滿ニイッテ居ルノデアリマス、現在ノ組合員ノ取引ハ年額約百万圓デアリマスガ、組合費ヲ一厘モ徴收シテ居リマセヌ、ソレデハドウシテ組合ガ存立シテ行クカト云フト、組合ハ縣内ニ一種類ダケノ現地配給ヲ専門ニヤッテ居ル、此實上高ガ約七万圓ニ

ナルノデアリマス、ソレデ七分ノ賦金ヲ取ッテ組合ニ渡スト云フコトニナリマスノデ、彼此レ五千圓バカリノ金ガアリマスカラ、之ヲ組合費ニ充テテ居ルノデアリマス、此組合カラ一厘モ金ヲ徴收シナイト云フ所ニ、組合ノ統制命令ノ威令ガ行ハレテ行クノデアリマス、ソコデ組合員間ニハ商賣上ノ競争モ只今少イシ、總テノ無駄ヲ省イテ居リマスカラ、商品モ安ク賣ッテ居ルノデアリマス、隨テ得意先ニモ喜バレルノデアリマス、産業組合ナドトノ妥協モ割合ニ出來テ行クノデアリマス、是ハ私ノ經驗ヲ御話申上ゲテ、サウシテ第十五條ノ益々必要ヲ感ジ、コ、デ初メテ同業組合ノ無用ナコトヲ、私ハ裏書スルコトヲ御話申上ゲタノデアリマス、此場合ニ更ニ申上ゲテ置キマスガ、此十五條ノ無出資組合ノ精神ハ右御話申上ゲタヤウナ組合ハ、唯規定ノ手續ヲ履ンデ登記サヘスレバ、即チ此無出資組合ト云フモノニ該當スルモノデアリマスカ、此點モ併セテ聽キタイト思フノデアリマス

○伊東委員 同業組合ノ關係ハ此程度ニ置キマシテ、私ハ更ニ進ンデ産業組合トノ關係ヲ御尋シタイト思フノデアリマス
此法律案改正ニ當ッテハ、無論商工省ハ産業組合ト商業組合ノ關係、工業組合トノ關係等モ御考ニナッテ居ルト思フノデアリマス、更ニ輸出組合ニ關スル問題モ御研究ニナツタコトト思フノデアリマスガ、其點如何デアリマスカ、更ニ産業組合ト商業組合ノ反抗對立ハ、即チ反產運動トナッテ現ハレ、商權擁護運動トナッテ只今盛ニ地方ニ現ハレテ、洵ニ是ハ賑々シイ問題デアアルノデアリマス、又工業組合トノ軋轢モ、近時漸ク表面化シテ參リマシタガ、斯様ナコトハ國家ノ爲ニ洵ニ悲シムベキコトダト思フノデアリマスガ、商工、農林兩方ニ關係ノアルコトデアリマスガ、之ヲ如何様ニ只今御考デアリマスカ、先程大臣カラモ若干ノ御所見ヲ御漏ラシニナリマシタケレドモ、モウ一應伺ッテ置キタイト思ヒマス
○吉野國務大臣 御話ノ點ニ付キマシテハ本會議ニ於テモ一寸申上ゲタノデアリマスガ、一ツノ中産ノ階級トシテ同ジ社會階級ニ屬スルモノデアリマスカラ、兩者ノ間ニハ私ハ連絡協調ノ方法ガアリ、又兩者ノ利害ノ調整ト云フモノヲ圖ラナケレバナラナ

イモノダト、斯ウ云フ所信ノ下ニ農林省トモ色々打合ヲ致シマシテ、兩者ノ摩擦相剋ヲ出來ルダケ少イヤウニ現ニヤッテ居ル、斯ウ云フ實情デゴザイマス

○伊東委員 農林省ノ方ハマダ御見エニナリマセスカ

○高橋委員長代理 只今交渉中デゴザイマス

○伊東委員 ソレデハ大體質問ノ重點ガ商業組合關係デアリマスカラ論ヲ進メマス、只今大臣御話ノヤウニ、此點ハ相當農林當局モ商工當局モ御心配ニナッテ居ルコトトハ思フノデアリマスガ、兩方ガ能ク妥協協調シテ行ケバ、其途ハアルノダト言フノデアリマスガ、其途ヲ私ハ聞キタイノデアリマス、ドウスレバ此對立摩擦ガナクナルカ、此憂フベキ反産運動ヲドウスレバ防止出來ルカト云フコトガ非常ニ大切ナ問題デアルノデアリマス、ソコデ申上ゲマスルガ、此産業組合ト、商業組合ト、工業組合ノ權限ヲハッキリスルコトガ一番必要ダと思フノデアリマス、反産運動ハ結局商工兩者カラ立ッテ居ルノデアリマス、只今ノ所デハ産業組合ノ方ガ非常ナル勢力ヲ持ッテ居リマスルカラ、斯様ナ弱イ運動デハ到底對抗ハ出來ナイノデアリマス、却テ其運動ニ乗ジ

テ來テ、逆ニ産業組合ガ事實出テ居ルノデアリマス、ソコデ反産運動ヲスレバスル程、商業組合ハ實際困ルト云フヤウナ事實ガ地方デハ澤山アルノデアリマス、ソコデ之ヲ防止スルト云フコトハ、組合ノ權限——産業組合ノ權限、商業組合、工業組合ノ權限、此點ガドウモハッキリシテ居ナイノデアリマスルガ、私ハ此點ヲハッキリサセルコトガ非常ニ必要ダと思フノデアリマス、紙一重ノ此點ヲ截然トハッキリサセル方法等ニ付テモ、必ず御研究ニナッテ居ルコトと思フノデアリマス、又此點ガハッキリナラナケレバ、將來反産運動ト云フモノハ益、繼續シテ、強イ力デ産業組合ガ出ルト云フコトニナルト、非常ニ商業組合ノ發展ヲ阻碍スルコトニナルノデアリマス、此點ニ付テノ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○吉野國務大臣 本質的ニ申シマスト、商業組合ト産業組合ト云フモノハ經濟上ノ共同事業ヲ行フコトガ同ジモノデアリマスカラ、ソコニ分野ヲ決メルト云フコトハ、結局其事業ノ範圍、同ジ購買組合ヲスルニシテモ、ドウ云フモノ迄購買組合ノ品目ニスルカト云フヤウナコトヲ決メルコトガ、兩者ノ摩擦ヲナクスル上ニ於キマシテモ、最適切ナ方法ダト私ハ考ヘテ居リマス、唯

其コトヲヤルニ付キマシテ、法規ヲ以テ一々書クト云フ性質ノモノデハゴザイマセスカラ、ヤハリ兩方ノ代表者ガ話合ッテ決メルト云フコトガ私ハ一番宜イト思ヒマス、ソコデ私共ガ役人ニナリマシテカラ以來、農林大臣トモ相談致シマシテ、反産運動側ノ代表者ト、産業組合ノ代表者ト數次ニ互ツテ會合ヲ催シマシテ、ソレ等ノ點ニ付キマシテ話合ヲシテ、部分的ニハ一二ノ實際上ノ效果ヲ見テ居ル次第デアリマス、サウ云フヤウナコトヲ中央ニ依ッテヤリ、又其方針ヲ地方ニモズット及ボシテ參リマシテ、商業組合、産業組合ト云フモノハ、兩代表者ノ間ニ事業ノ分野ト云フモノニ付キマシテ話合ッテ、地方的ニ之ヲ決メテ行ク、斯ウ云フ方針デ參リタイト思ヒマス

○伊東委員 商業組合ノ發達助長ヲ圖ル上ニ於テ、私ハ此問題ヲドウシテモ解決シテ置カナケレバ、到底今後思ハシキ商業組合ノ發達ハ出來兼ネルト思ッテ居リマス、私共ハ商業組合ノ發達ヲ非常ニ期待致シテ居リマスルカラ左様ニ申上ゲルノデアリマス、大臣等ハイツモ上ノ方ニ居ラレルカラ分リマセスケレドモ、實際地方ノ下々ニ於テハ、ドウモ實ニ激化致シテ居リマシテ、收拾スベカラザル情勢ニ陥ルコトガ多々益、多イノ

デアリマス、今私ノ意見トシテ具體的ノコトヲ申上ゲテ見タイト思ヒマスガ、大臣ハ其點ヲハッキリスルコトハ出來ナイカラ、兩方ノ妥協ニ依ッテ行クヨリ途ハナイト言ハレルケレドモ、サウシテ居ルコトガ反産運動ノ原因ニナルノデアリマスカラ、ソレヲ私ハ徹然トサルベキモノダト思フノデアリマス、例ヘバ産業組合ノ仕事ノ中デ、購買販賣事業ガ商業組合ニ、又利用組合ガ工業組合ニ密接ナル關係ヲ持ッテ居リマス、此内容ニ付テドウ云フ工合ニ御考ニナッテ居リマスカ、即チ産業組合ト商業組合ガ、先程モ御話ノヤウニ協調提携致シマスルコトハ洵ニ好マシイコトデアリマスルケレドモ、是ハ言葉ノ上ノ問題デアルノデアリマス、言葉ダケデハイケナイ、事實何トカシナケレバ此問題ハ解決シナイ、ソコデ一番宜イコトハ、取扱品目ノ如キヲ大體法規デ決メルコトハ出來マスマイガ、雙方ノ協議會デ御決定ニナッタラドウカ、例ヘテ申シマスルナラバ、産業組合ハ米トカ、蕎トカ、雜穀トカ云フヤウナモノ、或ハ農村ノ主要ナル生産品、又ハ農業ニ直接必要ナル肥料、農具ノ如キモノ、或ハ雜貨ノヤウナモノ、又農家ノ立場ニ於テ特ニ必要ナル地下足袋ノヤウナモノハ當然取扱フベキ

モノデアリ、且又是レ以外ニモ農村ノ立場

タイト思ヒマス

カヲ必要ト云フモノハ是レ、只今産業

○伊東委員 事務關係ノ方ニ御尋シマスガ、

ガ、例ヘバ秩父地方ニ於キマシテハ、産業

勞ノ立場カラ言フト獎勵スベキモノデヤナ

組合デ取扱テ居ルモノノ中デモ、例ヘバ吳

ドウモ私大臣ノ答辯デハ満足スルコトガ出

組合ノ扱ヒマスル品目ト、産業組合以外ノ

イ、ソレヲ農村ニ需要ガ多イカラト云フノ

服類ヲ扱フ、或ハ石鹼、白粉其他ノ裝飾品

來ナイ、此點ダケラハッキリシテ置キタイト

所謂商業者ノ扱ヒマスル品目ト云フモノノ

デ、最近デハ全購聯ガ自轉車工場マデ拵ヘ

モヤルト云フヤウナコトマデヤッテ居リマ

思フノデアリマス、此點サヘハッキリスレ

間ニ、縣廳ガ仲ニ入りマシテ線ヲ引イテ行

テ行カウカト云フヤウナコトヲ目論シテ居

ス、斯様ナコトヲヤラセルコトハ、纏デハ産

バ、モウ反産運動ノヤウナモノハ段々ナク

クト云フヤウナ方法ヲ講ジマシタ例モゴザ

スルノデ、方針トシテ左様ナ問題ヲ何トカシテ

業組合ノ進展ヲ阻碍スルノデアリマスカラ、

ナッテ、産業組合ト商業組合、工業組合ノ提

ノ方針ヲ執ッテ進ンデ居リマス、唯ソレガ各

置カレスト、産業組合ハ自由ニ出來ルノデ

斯ウ云ツタモノヲ産業組合デ扱ッテハイケナ

携ガ出來テ、日本ノ産業ノ進展ノ上ニ非常

地方々々ニ付キマシテ、十分吾々ノ満足出

アリマス、是ガ又需要者ノ大部分ハ農業者デ

イト云フヤウナ工合ニ、此境界ヲハッキリサ

ハサウ云フ工合ニ進ンデ行ク、サウスルノ

來ルヤウナ所マデハ、現在ノ所行ッテナイ、

アリマスカラ、大キナ勢デ發展スルト云フ

セテ置イテ、其上デ組合ガ互ニ自省提携シ

ダ、斯ウ云フ工合ニハッキリ御話ニナリマシ

併ナガラ今後其方向ニ出來ルダケノ努力ヲ

コトニナルト、是ハ非常ニ大キナ問題デア

テ行キマスルナラバ、反産運動ト云フモノ

タケレドモ、私ノ申上ゲタヤウナ品種、販賣

シタイト云フ風ニ考ヘテ居リマス

リマス、ソコデ私ハ一ツノ例ヲ引イタノデ

ハナクナルト思フノデアリマス、併シ左様

ノ種目デモ大體御決定ニナルト云フヤウナ

管デアル農林省ハ始終強イ立場デ御進ミニ

アリマスルケレドモ、モウ少シ熱心ニ、積極

ニ截然トスルコトハ法規ノ上デハ出來ヌト

御考ガアリマスルカ、ソレヲ具體的ニドウ

ナリ、商工省ハ常ニ消極的デオイデニナッテ

的ニ此點ニ御活動ニナル御意思ハナイノデ

致シマシテモ、何等カノ方法ガアリ得ルモ

云フ工合ニ御現ハシニナルノデアリマスル

居ルカラ、何時デモ中小商工業者ガ下積ニ

アリマスルカ、餘リ消極的デ私ハ洵ニ遺憾

ノデハナカラウカト私ハ思フノデアリマス、

カ、事務當局ハ斯様ナ小サイ問題ニ付テハ、

ナッテ居ルト、斯様ニ私ハ信ジテ居ルノデア

デアリマス

以上申シマシタ品種ハ、唯例示シタバカリ

色々地方カラノ具體的ノ御話ヲ聞カレテ居

リマス、今縣アタリデ品目別ニ色々線ヲ引

サウ云フ風ニヤッテ居ルト云フコトヲ申上

デアリマスガ、ドウデアリマセウカ、一ツ

ルコトト思フノデアリマスガ、更ニ私ハ反

イテヤッテ居ルト云フヤウナ話ガアリマス

ガテ居ルノデアリマス、現ニ護謨足袋ノ如

將來出來ル限り反産運動ノ防止ノ對策ヲ根

産運動防止策ヲ如何ニスルカト云フコトヲ、

ノデアリマシテ、洵ニ此點ハ考ヘナケレバ

キモ、産業組合ノ方デ護謨足袋ヲ造ルト云

本的ニ御講ジニナルコトヲ非常ニ希望スル

アナタ一人ノ御意見トシテモ差支ナイノデ

ナラス點デアリマス、例ヘバ肥料ノヤウナ

フ場合デモ、日本全體カラ申シマシテ護謨工

者デアリマスガ、大臣ノ御所見ヲ承リタイ

アリマスカラ、此場合御發表願ヒタイト思

モノヲ、産業組合ガ肥料會社ヲ作ッテ迄モヤ

業ハ生産餘力ガアルカラ止メテ貰ヒタイト

ト思ヒマス

フノデアリマス

ルト云フコトハ差支ナイト思フノデアリマ

制度ト云フモノヲ止メテ居ルノデアリマス、

○吉野國務大臣 私モ其點ハ同感デアリマ

シテ、今御示シニナリマシタコトモ、先程

ス、併シ農村ニハ、ドチラカト言ヘバ餘リ

サウ云フヤウニ中央デ方針ヲ決メ、又地方

私ハ言葉ガ足ラナカッタカモ知レマセスガ、

ラレマシタ通りデゴザイマシテ、現實ノ問

題ト致シマシテモ、最近ノ例デゴザイマス

ニ於テモサウ云フ方針ニシテ、御話ノ通り

サウ云フ方向デ現ニ進ンデ居ルノデアリマ

ス、又將來モサウ云フコトニ一層努力致シ

ヲ自轉車ニ乗セルト云フコトハ、本當ノ勤

ニ於テモサウ云フ方針ニシテ、御話ノ通り

ス、又將來モサウ云フコトニ一層努力致シ

○新倉政府委員 産業組合トノ關係ニ對ス

ル方針ニ付キマシテハ、只今大臣カラ述ベ

サウ云フヤウニ中央デ方針ヲ決メ、又地方

ラレマシタ通りデゴザイマシテ、現實ノ問

題ト致シマシテモ、最近ノ例デゴザイマス

ヲ自轉車ニ乗セルト云フコトハ、本當ノ勤

ニ於テモサウ云フ方針ニシテ、御話ノ通り

ニ、活動ノ事業ノ分野、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ所謂取扱品目ト云フモノニ付テ、地方々々ニ依ッテ話シ合フト云フコトガ一番宜シイノデスカラ、全然御話ノ通りノ事ヲ私共ヤッテ居ルモノデアリマスカラ、同感ノ意ヲ表シテ居ル譯デゴザイマシテ、唯其熱心ガ足リル、足リナイト云フコトハ、度々御言葉デゴザイマシタケレドモ、ソレハ若シ熱心ガ足リナイト云フ御言葉デアリマスレバ、是カラ精々氣ヲ付ケマシテ、御趣意ニ副フヤウニ努力ヲ致シタイト思ヒマス

○伊東委員 非常ニハッキリシタ親切ナル御答辯ガアリマシタカラ、モウ是レ以上私ハ此點ニ向ッテハ申しマセヌ、安心シテ居リマス、今度ハ愈々今ノヤウナ御方針デオイデニナレバ、地方ニ於ケル反産運動ナドモナクナッテ、商業組合、産業組合ガ互ニ提携シテ行クコトト思フノデアリマス、私ハ大臣ノ言明ヲ深く信ジマス

更ニ論ヲ進メマスガ、本法ノ第十七條ノ三ノ統制命令ノ問題デアリマス、是ハ大臣カラ御答辯ガアッタノデアリマスカラ、御答辯ノ通りト考ヘマスガ、唯私ノ伺ッテ居ル點ハ、市街地信用組合ノ問題デアリマス、市街地信用組合ハ商業地帯、街ニ作ルノデア

リマスカラ、此場合ニ於テ、是ハ複雑ナ關係ガアルト思フノデアリマス、商人ハ商業ガ本質デアリマスカラ、信用組合員デアッテモ産業組合ヲ主トスルヤウニナルノデアリマス、併シ一面ニ於テハ産業組合員デアリ、商業組合員デアルコトハ是ハ矛盾デアリマシ、又斯クスルコトハ將來商業組合ノ發展ノ上ニ非常ニ支障ガアルノデハナイカ、ソコデ商業組合ノ將來ノ金融ノ圓滑豊富ヲ圖ル上ニ於テモ、市街地信用組合ヲ産業組合カラ引離シテ商業組合ノ方ニ併合サセルコトガ非常ニ必要ダ、而シテ現在ノ市街地信用組合ハ豊富ナル資金ヲ持ッテ居リマスカラ、是ト商業組合ト組合セルト云フコトニナルト、資金ノ運用ノ上ニ於テモ、總テノ運用ノ上ニ於テモ非常ニ宜イト思フノデア

リマスガ、此點ノ御所見ヲ伺ヒタイ、尙ホ農村デハ土地ナドノ抵當物件ヲ持ッテ居リマスケレドモ、街ノモノハ信用力ガ非常ニ薄イノデアリマスガ、此點ニ向ッテハ、今マデ色々ナ金融對策ガ講ゼラレテ居リマスルケレドモ、ドウモ是ガ徹底致シテ居リマセヌ、商業組合ノ場合ニモ結局中央金庫等ヲ作ラレタケレドモ、是デモ只今ノ所デハ駄目ダト思フノデアリマスガ、此點ニ關シテノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○吉野國務大臣 市街地信用組合ト云フモノノ實情ガ、御話ノ通りニ、中小ノ商業者ノミヲ以テ組織シテ居ルモノデアラナラバ、サウ云フ點ハ考フベキ問題ダト思ッテ居リマス、唯實際問題トシマシテ、市街地信用組合ハ商業者ノ外ニ所謂給料取りモアリマシテ、サウ云フ者モ澤山入ッテ居リマスカラ、現狀ニ於キマシテハ直チニ信用組合ヲ商業組合ノ方ニ一緒ニスルト云フコトハ難カシイト思ヒマス

○伊東委員 事務當局ニ御尋致シマスガ、サウスルト、片方デハ産業組合員デアリ、片方デハ商業組合員、兩方兼ネルコトガ出來ルノデアリマスカ

○新倉政府委員 個人トシテハ差支ゴザイマセヌ

○伊東委員 其點ハ分リマシタ、ソレデ只今地方ニ都會カラ大キナ資本商業者、所謂「デパート」ノ進出ガ非常ニ多イノデ、中小商業者ガ非常ナル打撃ヲ受ケテ居ルノデアリマス、ソコデ商品ノ配給範圍モ非常ニ縮小サレ、隨テ利益モ非常ニ少クナッテ、殆ド生活權ノ大問題ニ迄行ッテ居ルノデアリマス、ソコデ斯ウ云ッタヤウナ問題ヲドウシテ救済スルカト云フコトニ對シテハ、地方デハ非常ニ腐心致シテ居ルノデアリマス、ソ

コデ第一考ヘラレルコトハ、ヤハリ商業組合ノ設立ヲ獎勵シテ、商業組合ノ活動ニ俟ツコトガ一番必要ダト思フノデアリマス、是等商業組合ノ設立等ニハ、地方デハヤハリ商工會ノ活動ヲ一番必要ト致スノデアリマス、ドウシテモ商工會ガ中心ニナッテ總テノ世話ヲスルコトニ依ッテ、地方ノ中小商業者モ救ハレルコトニナルシ、或ハ商業組合設立ノ上ニモ都合ダト思フノデアリマス、ソコデ私ガ御尋致シタイトハ、ドウシテモ商工會ノ活動ヲヨリ以上促進スルコトガ必要ナリト強調スルノデアリマス、ダカラ現在ノ商工會ニ對シテ、商工會法ヲ御制定ニナル御意思ハナイカ、是非一刻モ早ク商工會法ヲ作ッテ戴キタイト思フノデアリマス、是ハ商業組合ノ改正ト相竝ンデ、左様ナコトヲ御考下サルコトガ非常ニ必要ダト思フノデアリマス、斯クシテコソ商業政策ノ徹底、商工業ノ振興ノ上ニ非常ニ有效デアリ、且又商工機關ノ互ヒノ連絡協調ノ上ニモ都合好ク行クノデアリマス、都會デハ商工會議所法ニ依ッテ其途ガ開カレテ居リマスガ、地方ノ小サイ所デハ此點ハ其途ガナイノデアリマス、既ニ産業組合ヲ中心トシテ居ル農業地帯ニ農會法ガアルヤウニ、或ハ水産地帯ニ水産會法ガアルヤウニ、畜

產地帯ニ畜産組合法ガ制定サレテ居ルヤウニ、ソレト等ノ團體ハ法規の根據ヲ持ッテ居ルノデアリマス、獨リ商工會ノミガ法規の根據ヲ持タナイコトハ、洵ニ遺憾ニ思フノデアリマスガ、此制度ニ對スル大臣ノ御所見ヲ承ッテ置キタイト思フノデアリマス

○吉野國務大臣 其點私モ年來考ヘテ居ル點デアリマシテ、地方ノ商工業者ト云フ者ノ全體ノ利害ヲ代表スルヤウナ意味ニ於テノ商工會ト云フモノハ、是ハ認メタイト思ッテ居リマス、唯ソレニハ現在アリマス商工會議所——都市ニ主トシテ行ハレテ居リマスガ、實情カラ見マシテ、是モ率直ニ申上ゲマスガ、現在商工會議所ハ其都市ノ商工業ノ全部ノ利害ヲ代表スルト云フコトニ付テハ遺憾ノ點モアルヤウデアリマスカラ、商工會議所法ノ根本的改正ト兩々相俟ッテ考ヘタイト思ッテ居リマス、御趣旨ハ私モ能ク諒承ラシマシタノデ、サウ云フ風ニ折角努メテ参リタイト思ッテ居リマス

○伊東委員 非常ニ安心致シマシタガ、是非此商工會法ノ制定ニ付テハ、商工會議所法ノ改正ト同時ニ、一日モ早く其實現ラシテ戴クヤウニ、折入ッテ御相談ヲ申上ゲテ置キマス

只今中小商工業者ガ非常ニ困ッテ居ル、之ニ對スル對策ハ、政府モ非常ニ心配サレテ居リマスガ、併シ是ハ普通ノ方法デハ駄目ダト思フノデアリマス、ソコデ私ハ其根本的救済策ハ何カト言フト、小サイ商工業者ノ數ヲ減ズルト云フコトガ一番必要ダト

思フノデアリマス、ソコデ總テノ競争防止モ出來テ、收入増大モ圖リ得ラレルト思フノデアリマス、殊ニ私ハ小サイ商人ノ如キハ、現在ノ社會ノ現狀、配給組織ノ機構ニ依ッテ——多過ギルト云フコトヲ、私ハ何時モ考ヘテ居ルノデアリマス、ソコデ百姓ナドガ行詰ルト、資本ノ少クテ出來ル小商賣ヲ始メル、サウシテ町ヤ都會ニ集マル、左様ナ事ノ如キハ、ドウシテモ是ハ防止セネバナラスト思フノデアリマス、モウ一ツ小サイ商賣人ヲ少クスル方法トシテハ、私ハドウシテモ營業ノ許可制度ヲ採用シテ行キタイト思フノデアリマス、サウシテ初メテ不要ノ營業者ノ増大ヲ防止スルハ、又剩ッテ居ル所ノ商人、雜業者ノ如キハ之ヲ能ク調査シテ、他ニ轉業ノ途ヲ考ヘル、殊ニ左様ニスルニハ的確ナル統計モ必要デアリマス

ガ、斯様ニ致シマスルコトガ、私ハ中小商工業者ヲ救済スル一番根本問題ダト思フノデアリマス、是ハ大分大キナ問題ノヤウニ

モ思ハレマスケレドモ、必ズ御研究ニナッテ居ルト思フノデアリマス、御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○吉野國務大臣 中々難カシイ問題デアリマシテ、私モ其前提トシテ、現在ノ小賣商ト云フモノノ經營ガ合理的ニナッテ居テ、消費者ノ利益ト云フモノヲ十分ニ圖ッテ居ル、即チ出來ルダケ、誰ガヤッテモ是レ以上ニ勉強シテ安クハ賣レナイノダト云フ仕組ニナッテ居ルモノナラ、此許可主義ト云フヤウナ事モ、私ハ一ツノ案デハナイカト思ッテ居リマス、併シソレヲヤルニハマダ色々現在ノ小賣商ト云フモノノ組織ニ付テ、モウ少シ或ハ共同ノ組織ヲ致ストカ、或ハ一ツノ市場的ニ致サセマストカ、サウ云ッタヤウナコトニ付テ考慮セネバナラスト事ガアルト云フ點ガ一ツト、モウ一ツハ是ハ細カイ問題デゴザイマスケレドモ、社會問題ガ伴フノデアリマス、即チ安イ料ヲ取ッテ居ル人デアルトカ、或ハ恩給生活ヲシテ居ルト云フ人ガ、一部分ニ小賣商ヲヤルト云フ問題ガ都市ニハ相當アルノデアリマス、サウ云フヤウナ社會的ノ問題ガ伴ッテ居リマスカラ、一許可主義ト云フモノデ、サウ云フ小賣商ノ方ニ入ラセナイヤウニスルト云フコト、其事ハ一體小賣商ノ改善カラ言ヘバ非常ニ

望マシイノデアリマスケレドモ、其事ヲ斷行スル爲ニハ、サウ云フヤウナ社會的ノ問題モ考慮ニ入レナケレバナラスト思フノデアリマス、是ハ御尋ガゴザイマシタカラ、從來吾々ノ研究致シマシタ經過ヲ申述べタ譯デアリマスガ、マダ結論ハ得テ居リマセス、併シ御趣旨ハ私共ノ尤ト思フ點ガ多イノデゴザイマスカラ、今度ノ改正案ニ於キマシテモ、統制命令ヲ出シタ場合ダケニ付キマシテ、一部許可主義ニスルト云フヤウナ思想ヲ織込ンデアル、第九條ノ三デゴザイマスカ、サウ云フ次第デアリマス

○伊東委員 營業ノ許可制度ト云フヤウナコトモピンツト法案ノ上ニ現レテ來タ、之ヲ段々擴大シテ参リマス、吾々ノ主張スル思想ト一致スルト云フコトニナルト思フノデアリマス、是等ノ點ニ向ッテ色々ナル意見ヲ持ッテ居リマス、ドウシテモ現在ノヤウナ中小商工業者ノ救済案デハ駄目ダ、其根本ニ觸レナケレバ駄目ダト私ハ平生カラ考ヘテ居ルノデアリマス、ソコデ例ヘバ農村ノ青年ガ工場ニ行クト云フヤウナコトハ、是ハ止メナケレバナラヌ、農村ハ兵士ノ母體デアリ、國防ノ源泉デアリマス、又斯様な健全分子デアアル農家戸數ノ如キハ減ジテハナラナイノデアリマス、ソコデ工場用ノ女

工男工ノ如キハ、之ヲ農村ニ募集シテ求メルコトノ如キハ私共ハ反對デアル、其間ニソレデハ何處カラ労働者ヲ持ッテ來ルカト云フト、私ハ有リ餘ッテ居ル小賣商人ナドノ労働力ヲ左様ナ方面ニ持ッテ行クコトガ、國策ノ上ニ於テ一番宜イト思フノデアリマス、サウ致シマス、反産運動ノ如キモ自然ニ消滅スルヤウナコトニナリハシナイカトモ考ヘテ居リマスガ、尙ホ是等ノコトニ付テハ意見ニナリマスカラ申上ゲマセス、此位ノ程度ニシテ置キマスガ、最後ニモウ一點之ニ關係アル問題トシテ御尋シテ置キタイコトハ、殊ニ中小商工業者ニ關係ノアル問題デアリマスガ、所謂徒弟制度ノ問題デアリマス、之ニハ私モ委員トシテ、厚生省カラ商店法案ト云フモノガ出マシタ際ニ色々研究ヲ致シマシタガ無論此商店法ハ徒弟ノ優遇、給與、休養時間、公休日等ノ問題ニ付テハ、法ニ是ガ制定致サレタノデアリマス、唯私共ノ非常ニ残念ニ思ヒマスコトハ、店員以外ノ労働者、殊ニ工場ノ労働者ハ、工場法ニ依ッテ大體雇傭關係ガ解決サレテ居リマス、併シ此解決ハ私ハ決シテ望マシイ解決デハナイト思フノデアリマス、即チ工場職人等ハ、工場法ノ規律一片ノ雇傭法規決メラレテ居リマスル爲ニ、本當カラ言フト、

我國ノ所謂醇風美俗ヲ破壊シテ居ルノデアリマス、日本デハドウシテモ家族主義ノ美風デアリマスル親方、徒弟ト申シマスルカ、是等ノ技術見習等ノ存続ヲ必要ト致スノデアリマス、只今デハ店員、徒弟ノ爭奪戰ガ行ハレテ、ソレガ爲ニ商店等デハ非常ニ困ッテ居ルノデアリマス、ソコデ私ハ斯ウ云ッタヤウナ問題ヲ商業組合デーツ考ヘナケレバイケナイト思フノデアリマス、無論ソレ等ノ徒弟制度ガ法制化スレバ、是レ位望マシイコトハアリマセスケレドモ、寧ロ法制化スルコトヨリモ、不文律デ商業組合ナドガ中心ニナッテ、是等ノ徒弟制度ノ解決ヲスルコトガ非常ニ望マシイコトデハナカラウカト思フノデアリマス、ソコデドウ云フヤウニスルカト申シマス、例ヘバ商業組合等ガ精神修養、職業補導等ノコトモヤリ、自治的ニ徒弟制度ヲ合理化スル、一面ニ於テハ爭奪ヲ防止スル爲ニ登録制度ヲ設ケル、サウシテ徒弟手帳ト云フヤウナ制度ヲ設ケテ、此店員徒弟ノ爭奪防止ヲシテ、正シイ産業ノ擴充ニ資スルト云フコトガ非常ニ必要ナコトデアリマス、自由主義ノ進シダ英吉利ニモ、不文律ノ左様ナ考ヘ方デ行ッテ居ルモノモアリマスシ、又亞米利加ナドデモ最近此主義ニ依ル徒弟制度ナドガ設ケ

ラレテ居ルノデアリマスカラ、少クトモ商業組合ノ如キモ、工業組合ノ如キモ、サウ云ッタ根本問題マデ觸レナケレバナラスト思ヒマスケレドモ、是ハ組合事業トシテヤルコトハ如何カト思ヒマスカラ、私ハ商工省トシテ左様ナ徒弟制度ニ對スル考ヲドウ云フ工合ニ御考ヘニナッテ居リマスカ、決シテ是ハ輕視スベカラザル問題ダト思フノデアリマス、出來ルナラバ之ヲ法制化シテ戴クナラ之ニ超シタコトハナイト思フノデアリマス、御意見如何デアリマスカ

○吉野國務大臣 其問題モ私ハ年來注意ヲ拂ッテ居リマシテ、殊ニ諸外國ノ最近ノ傾向ナドニ付テモ注意ヲ怠ラナイノデアリマスカ、私ハヤハリ立法シタ方ガ宜シイト云フ考デアリマス、併シ現在ト致シマシテハヤハリ御話ノ通りニ、組合ノヤウナモノデヤラシタ方ガ宜カラウト云フノデ、先程一寸申上ゲマシタガ、同業組合ト云フモノニ付テ、同業組合ト云フモノヲ若シ其儘ニシテ置クト云フコトデアレバ、寧ロ私ハ同業組合ト云フモノノ性質ガサウ云フコトヲヤル方ガ宜シイト思ヒマス、是ハ伊東サンモ能ク御承知デ居ラシヤイマス通りニ、歐羅巴ニ於キマスル同業組合ノ發達ノ沿革カラ見マシテモ、同業組合ト云フモノハサウ云フ

風ニヤラスベキデアルト思ヒマス、唯日本デサウ云フ風ニ發達シナカッタソハ、労働者ニ關スル仕事ハ同業組合デヤッテハイカヌノダト云フ方針ヲ、政府ガ農商務省時代ニ執ッタコトガアルノデアリマス、サウシテ日本中ノ同業組合ノサウシタ事ヲ禁ジタコトガアリマス、ソレガ沿革トナッテ居リマシテ、現在ノ日本ノ同業組合ハサウ云フ方面ニ餘リ發達シテ居ラス、斯ウ云フ實情デアリマス

○伊東委員 非常ニ要領ヲ得タ御答辯ヲ承リマシタ、實際ガ亞米利加ノ如キデモ「シカゴ」デハ鑄物協會、所謂同業組合デアリマスカ、是ガ中心ニナッテ徒弟ノ教育制度ヲヤッテ居リマス、先程述べタヤウナ精神デヤッテ居ルヤウデアリマス、同業組合ナドガ是非存続サセナケレバナラスモノデアルトシタナラバ、是非斯ウシタヤウナ仕事モサセナケレバナラスノデアラウト思フノデアリマス、私ハ同業組合ノ存続ニハ反對デアリマスカラ、斯ウシタ仕事モサセル必要ハナイ、寧ロ商業組合ニヤラセテ宜イノデハナイカト考ヘテ居リマス

緒テ愈、此法案ニ對スル質疑ヲ二三致シタイト思フノデアリマス、今迄申上ゲタコトハ總體的ノ問題デアリマス、アトハ極ク簡單ニ、

時間モ大分延ビマシタノデ終了致シタイ
ト思フノデアリマス、第一ハ同業組合ノ地
域ノ問題デアリマス、第十二條デハ豫メ地
域ヲ定メテ、其地域ニ於テ其組合員ノ資
格ヲ有スル者ヲ以テ組織スルト云フノデアリ
マスガ、一體此地域ノ解釋ヲ承リタイト思フ
ノデアリマス、産業組合ノ如キハ一町村單
位ト云フコトニ大體決メテ居リマス、是ガ
組合ノ發達ノ上ニ非常ニ宜イノデアリマス、
此區域ノ問題ハ商業組合助長ノ上ニ非常ニ
大切ナ關係ガアルノデアリマスカラ、此點
御所見ヲ伺ヒタイ、一面ニハ營業者ノ種類
別ニ商業組合ヲ作ルト云フ、斯ウ云フ系統
組織ニ相成ッテ居リマス、無論是ガ效果的
デ、成ベクナラバ多數ニ互ッテハイケナイ
ト思ヒマス、サウシテ成ベクナラバ一町村
ニ區域ヲ決メテ、サウシテ聯合會ガ之ヲ指
導シテ行クト云フ所ニ妙味ガアルカト思フ
ノデアリマス、又同業同種ノ中デモ製造業
者、仲買、小賣業者、又資本ノ多少強弱等
デ利害ガ相反スルノデアリマスガ、此點ナ
ドヲドウ云フ工合ニ考慮サレテ居リマス
カ、無論中小商工業者ノ爲ニ商業組合、工
業組合ヲ作ルト云フコトニナッテ居リマス
ケレドモ、其中デモ資本ノ強弱デ利害ノ衝
突スル場合ガ事實アルノデアリマス、ソレ

カラ無出資統制組合デアリマス、自然此
區域ハ擴大サレルト思フノデアリマス、是
ハ幾ラ擴大シテモ宜イノデアリマスガ、廣
クテモ行政的、政治的ノ手腕デ統制運用ガ
巧ク行クト思フノデアリマスカラ、先程申
上ゲタヤウナ出資シタ商業組合、所謂同種
營業ノ商業組合ト比較シテ、此無出資同業
組合ハ寧ろ區域ヲ擴大スルコトニ妙味ガア
ルノデハナカラウカト思フノデアリマス、
是等ノ點ニ對スル、區域ヲ異ニシタ色々ナ
點ノ御意見ヲ伺ッテ置キタイト思フノデア
リマス

○吉野國務大臣 此區域ハ大體其組合ノ本
質カラ、經濟單位ト申シマス、同業者ノ
經濟的ノ施設ヲ行フニ適當ナ範圍ト云フコ
ト決メタイト思ヒマス、實際問題ト致シ
マシテハ御話ニナリマシタ通りニ、市町村
ヲ區域トスルト云フコトガ實際多イト思ヒ
マス、併シ東京ヤ大阪ノヤウナ大キイ所デ
ハ、例ヘバ大阪ノ心齋橋通り、東京ノ銀座
何丁目ト云フヤウナ商店街ノ組合モアル譯
デアリマスカラ、町村ノ區域ヨリハ又小サ
イモノモ起ルト云フコトモアリ得ルト思フ
ノデアリマス、ソレカラ無出資ノ組合ニ付
キマシテハ、私モ前ニ申上ゲマシタ通りニ、
大體ハ全國的ノ統制ヲヤラウト云フノガ

立法ノ趣旨デアリマス、併シ必シモ全國ヲ
區域トスルト云フコトニ限ラナイコトハ勿論
デアリマスケレドモ、御話ノ通り此方ハ區
域ハズツト廣イ所ヲ狙フ、其事ガ詰リ統制ノ
爲ニ宜シイ、御話ノ通りデアリマス

○伊東委員 無出資組合ニ入ッテ居ル組合
員ガ、有出資組合ニ入ルコトガ出來ルノデ
アリマス

○新倉政府委員 ソレハ出來マス

○伊東委員 無論出來ルコト思ヒマス、
出來ナケレバ非常ニ困ルコトダト思ッテ居
リマシタ、ソレカラ第三十一條ノ聯合會ノ
問題デアリマスルガ、各府縣ヲ一區域トス
ル聯合會ト思フノデアリマス、目下出來テ
居リマス組合ノ數及ビ活動等ハドンナ風デ
アリマスルカ、更ニ將來府縣聯合會ノ設立
促進助成等ノ方針ヲドウ云フ工合ニサレル
ノデアリマス、地方ニ商業組合ガ出來レ
バドウシテモ一縣ニ聯合會ガ出來ナケレバ
ナリマセス、只今アル縣モアレバ、ナイ所
モアルノデアリマス

次ニ第四十七條ニ依リマスル商業組合ノ
中央會ノ問題デアリマス、是ガ設立ヲ認メ
ラレタト云フコトハ洵ニ結構ナコトデ、組
合ノ相互連絡提携ノ指導機關トシテ、洵ニ
喜ブベキコトダト思フノデアリマスルガ、

是ハ何時頃カラ、實施サレルノデアリマス
カ、又中央會ノ實質的活動内容ヲドウ云フ
工合ニ御考ニナッテ居ルノデアリマスルカ、
成ベク強力ナモノニシ、本當ノ活動ガ出來
ルヤウニシテ欲シイト思フノデアリマス

今一ツハ第四十八條デ、中央會ノ名稱ハ
限局一定サレテ居リマス、之ニ反シテ目下
地方府縣ニアリマス聯合會ノ名稱ハ不統一
デアリマス、例ヘバ協會トモ稱シ、支部ト
モ稱シ、聯盟トモ稱シ、或ハ研究會ト云フ
名前ヲ使ッテ居ル所モアリマス、是ハドウシ
テモ統制スル必要ガアルト思ヒマス、尙ホ
府縣ノ聯合會ノ非常ナル活動ヲ期待シタイ
ト思フノデアリマスガ、之ニ對スル御指導
ノ御方針等モ承ッテ置キタイト思フノデア
リマス

○新倉政府委員 商業組合ノ聯合會ニ付キ
マシテハ、現在約十二程アリマシテ、是ハ
大體ニ於キマシテ府縣ニ於キマスル聯合會デ
ゴザイマス、尙ホ他ニ全國的ノ聯合會モ多少
アリマス、ソレデ中央會ニ付キマシテハ、此度
ノ改正法律デ法制上法人トシテ認メルコトニ
相成リマシタガ、從來ニ於キマシテモ法人デ
ハゴザイマセスガ、政府カラ相當ノ補助金ヲ
出シマシテ、又各組成組合カラ出資モ致シ
マシテ、相當活動ヲシテ居リマス、其活動

ニ付キマシテハ此處ニゴザイマスヤウニ、各組合ノ聯絡協調ヲ圖リ、尙且ツ同業組合制度ノ普及發達ヲ圖ルト云フヤウナ方面ニ、種々ナル活動ヲ致シテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、最後ニ仰セニナリマシタ各地方ニアリマスル協會トカ或ハ聯盟トカ云フヤウナ名前ニ於キマシテ現在活動シテ居リマスモノハ、今後中央會ガ法人ニナリマスレバ、各地方ノ支部ト云フ形ニ現ハシマシテ、ソレノ活動ヲシテ行ク方針ニ致シテ居リマス

○高橋委員長代理 一寸伊東サン、議事ノ進行ニ付テ御諮リシタイノデ御尋致シマスガ、アナタノ御質疑ノ時間ハマダ餘程オアリニナリマスカ

○伊東委員 モウゴザイマセス、十分間カ十五分開デス

○高橋委員長代理 サウデスカ、實ハ明日ハ此委員會ヲ開會スル部屋ノ餘地ガナイノデアリマス、出來ルダケ今日質疑ノ進行ヲ致シタイ、十分諸君ノ御審議ヲ御進行願ヒタイト考ヘテ居リマスガ、只今申上ゲタ事情デ、明日部屋ノ割當ガ出來ナイ關係上、今日ハ先ヅ商工大臣ニ對スル御質疑ヲ終了致シタイト存ジマス、隨ヒマシテ商工大臣ニ對スル質疑ガソレデモ尙且ツ殘存致シマ

スレバ、此以後ニ繼續致シマス、第二段ノ政府委員ニ對スル御質疑ハ今日ノ餘裕ノアル限り、又次回ニ繼續シテ行ヒタイト考ヘテ居リマス、左様ナ御方針デ、商工大臣ニ對スル質疑ヲ優先的ニ一ツ御進行ヲ願ヒタイト存ジマス

○伊東委員 ソレデハモウ五六分開カ七八分開位デ終ルヤウニシテ打切りタイト思ヒマス

○高橋委員長代理 只今申上ゲタ通り、政府委員ニ對スル質疑ハ留保ナスツテ置イテ戴イテ結構デゴザイマス

○伊東委員 ドチラカラ御答辯下サレテモ宜イノデアリマスルガ、併シ七八分開デアリマスカラドウゾ御許シテ……

○高橋委員長代理 ソレデハ然ルベク……伊東君

○伊東委員 主ナ點ダケヲ伺ヒマス、商業組合ノ實情ヲ色々調べテ見マスルト、産業組合ノソレト比較シテ其趣ガ非常ニ異ツテ居ルノデアリマス、産業組合ハ農村ノ協調主義、家族主義タル相互扶助ヲ目標ト致シテ居リマス、資本金モ割合ニドチラカト云フト要ラナイノデアリマスルケレドモ、ソレニモ拘ラズ只今ノ現狀ハ多過ギル位デ、貯金ノ如キモ非常ナ勢増加シテ居リマス、サ

ウシテ益、一致協力振リヲ發揮シテ居ルト云フ譯デアリマス、然ルニ商業組合ノ現在ノ組合ヲ見マスト、設立組合ハ僅カニ千六百八十六、組合員數ハ十四万四千三百三十四名、出資額ノ如キモ二千三百八十七万二千三百六十二圓、一組合ノ現在出資シテ居ル金ノ如キハ僅カニ四千三百三十圓ト云フコトニ

相成ツテ居リマスガ、産業組合ガ全國的ニ産業組合網ヲ張ツテ非常ナル活動ヲシテ居リマスモノニ比較シテ、洵ニ脆弱デアリマス、先程カラ申上ゲルヤウニ、産業組合ハ一町村一組合主義ニ依ツテ統制サレテ居リマス、組合員ハ少クモ四百五百人、多イ所ハ二千人、二千五百人ト云フヤウナ組合員ヲ有シテ居リマス、サウシテ出資金、貯金等モ非常ニ豊富デアリ、ソレバカリデナクテ、中央金庫其他ノ低利資金等ノ爲ニ非常ナル活動ヲ致シテ居リマス、一體商業組合ハ最モ資金ヲ必要ト致シテ居リマスノデ、又資金ガナケレバ活動ハ出來ヌニモ拘ラズ、今申上ゲマシタヤウナ數字ガ、即チ商業組合ノ活動ノ出來ナイ大キナ缺點ダと思フノデアリマス、是等ノ原因モ相當理由ガアルと思フノデアリマス、是等ニ對シテ將來眞劍ニヤラレルコトト思フノデアリマスガ、御意見ノアル所ヲ承ツテ置キマス

○吉野國務大臣 今御話ノ通り眞劍ニヤル積リデアリマス

○伊東委員 簡單ニモウ二點デアリマスカラ——第七條ノ二ニ「商業組合前條ノ規程ニ基キ販賣價格、販賣數量其ノ他命令ノ定ムル事項ニ付決定ヲ爲シタルトキハ遲滞ナク之ヲ行政官廳ニ届出ヅベシ」ト定メデアリマス、又「前項ノ決定ノ變更又ハ取消ヲ爲スコトヲ得」ト定メデアリマスガ、此變更又ハ取消ス場合ハドウ云フ場合デアリマスカ、ソレヲ示シテ貰ヒタイト思ヒマス

○吉野國務大臣 私カラ便宜申上ゲマスガ、値段ヲ高クシタリ、販賣數量ヲ少クシタリ、消費者ノ利益ヲ害スル場合ハ取消スト云フ意味デアリマス

○伊東委員 第八條ハ「營業上ノ弊害ヲ豫防若ハ矯正スル爲メ又ハ商業ノ健全ナル發達ヲ圖ル爲メ必要ナル施設ヲ命ズルコトヲ得」ト改正サレタノデアリマス、命令スル必要ナル施設トハドンナ施設デアリマスカ、モウ一ツハ第九條ノ二ノ、取締上ニ必要ノ場合ノ店舗、倉庫ヲ臨檢スル當該官吏トハ、何カ警察官ナドヲ指スノデアリマスカ、警察官ノ手デヤルト云フコトハ洵ニ困ルノデアリマスガ、當該官吏トハ何デアリマスカ、

之ヲ御伺ヒ致シタイ

○新倉政府委員 第八條ニ付キマシテ、從來ノ規定デハ營業上ノ弊害ヲ防止スル、又ハ矯正スル爲トナッテ居リマシタガ、此度ノ改正ニ於キマシテ、更ニ商業ノ健全ナル發達ヲ圖ル爲ト規定致シタノデアリマスガ、是ハ單ニ弊害矯正豫防ト云フ消極的ノコトノミナラズ積極的ニ其當該商業ニ於キマシテ統制ヲ圖ッテ、其利益ヲ増進スルト云フヤウナ必要ナル場合ヲ含メタイト云フノデ、斯ウ云フ改正ヲ致シマシタノデ、工業組合法竝ニ貿易組合法等ニ於キマシテモ、此前ノ議會ニ於テ改正シタト同一ノ趣旨デアリマス、第二ノ地方ニ於ケル取締ニ付キマシテ、警察官等ヲモ使フカト云フ點ニ付キマシテハ、現在ノ所此取締ニ付キマシテハ、商工省ノ役人或ハ商工會議所ト云フヤウナモノニ依リマシテヤッテ行キタイト云フ考ヲ有ッテ居リマス

○伊東委員 尙ホ質問シタイコトガアリマスルケレドモ、委員長ノ注意モアリマスカラ是デ一應中止致シマス

○高橋委員長代理 此際豫テ保留中ノ企畫院當局ニ對スル手代木君ノ御質疑ヲ御許シ致シマス——手代木君

○手代木委員 私ハ「バルプ」ノ問題ニ付テ

質疑ヲ重ネテ來タノデアリマスルガ、企畫院ノ御出席ヲ屢々要求致シマシタガ、ツイ今日マデ其機會ヲ得ナカッタノデス、大分飛ビ離レテ又「バルプ」ノ質問スルヤウデアリマスルケレドモ、「バルプ」ノ結論ヲマダ付ケマセヌノデ、此問題ノ最後ノ質疑ト致シマシテ企畫院ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス、「バルプ」ノ増産計畫ニ付テ企畫院デ對策ヲ立テラレテ、關係官廳トノ間ニ色々打合せヲナサレテ一ツノ成案ヲ得ラレ、著々之ヲ實行ニ移シテ居ラレコトヲ承知致シテ居リマス、其計畫ノ内容モ承知致シテ居ルノデアリマスガ、此間カラ商工當局又農林當局ニ質疑ヲ致シマシテモマダ明瞭ニナラナイ點ハ、今度ノ計畫ハ主トシテ新設若クハ擴張ニ對スル計畫デアリマス、「バルプ」トシテ最も重キナス所ノ紙材ノ關係デアリマス、新設擴張ニ對シテハ、國有林ニ付テハ國ガ責任ヲ有ッテ供給スル、ソレカラ若シ民有林ヲ引當テテ居ル場合ニハ、其民有林ヨリ紙材ヲ得ルコトニ付テ政府ハ斡旋ヲスルト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、然ルニ既設ノ工場ニ對スル紙材ノ關係ニ付テハ其點ガ明カデハアリマセヌ、固ヨリ既設ノ工場ニ對シテハ必ズ從來通り工場ノ運轉ニ差支ノナイ紙材ヲ何等カノ方法デ供

給スルコトヲ豫想シテ居ラレコトデアラウト思フノデアリマスガ、農林省ノ計畫ヲ聞キマスルト、増産計畫ニ對シテハ間伐材ト民有林カラ之ニ斡旋スルト云フヤウナコトヲ言ハレル、又商工當局ノ御考ヲ伺ヒマシタガ、其點ハ確實ナコトハ今言ヒ兼ねルガ、關係官廳ト能ク協議ヲシテ遺憾ナキヲ期スルト云フ御答辯ヲ得タノデアリマス、私考ヘマスルノニ、農林省ニモ其計畫ガナイ、紙材ヲ供給スルモノトシテ、内地ニ於ケル國有林ニ付テハ農林省ガ主トシテ之ニ當ラナケレバナリマセヌ、又北海道ニ於ケル國有林ニ付テハ内務省ガ之ニ當ル、樺太ノ方ハ拓務省ガ之ニ當ルノデアリマス、ソコデ拓務省ニモ尋ネマシタガ、從來樺太カラ内地ノ「バルプ」工場ニ對シテ相當多額ナ紙材ガ送ラレテ居ルノデアリマス、今日頂戴シマシタ「バルプ」紙材調査ノ表ヲ見マシテモ、是ハ過去三年ノ概況ヲ知ル爲ニ要求シタ資料デアリマスガ、是等ヲ見マシテモ、内地ニアリマス所ノ十五工場、之ニ對スル樺太材ノ使用歩合ト云フモノハ、昭和十二年度ニ於テ六九%ニナッテ居リマス、昭和十一年度ハ九一%、昭和十年度ハ九六%、斯ウ云フ風ニ樺太カラ紙材ヲ得テ居ルノデアリマス、然ルニ一方樺太ノ林政ノ計畫ヲ見マ

スト、所謂個人年期ナルモノハ昭和十五年デ切レル、又王子製紙ニ對スル内地移出、即チ島外移出ノ分ハ十八年デ切レル、島内ノ方ハ二十二年デ切レマスガ、今私ノ申シテ居ルノハ内地ノ方ヲ申スノデアリマス、拓務省ノ調査ニ依リマス、昭和十二年ニ島外ニ移出サレタ「バルプ」用紙材ト云フモノハ二百三十万石バカリ内地ニ送ラレテ居ルノデアリマシテ、是等ハ此十五工場ニ配給セラレテ居ルノデアリマス、十二年度ハ六九%ニ下リマシタケレドモ、其以前ハ皆九十一、或ハ九十六ト云フヤウニ、殆ド紙材ノ全部ハ樺太ヨリ得テ居ル、是ガ昭和十五年或ハ十八年デ送り出サレナクナル、殊ニ内地ノ十一工場ハ十八年マデハ賄フコトガ出來マセウケレドモ、其外ノ四ツノ工場、是等ハ樺太紙材ヲ殆ド一〇〇%使用シテ居ル、例ヘバ樺太木材紙料會社、是モズット一〇〇%デアリマス、ソレカラ大阪ニアル浪速製紙モ一〇〇%デアリマス、北越製紙ハ十年、十一年度ガ八%、十二年度ハ八六%ト云フヤウニ得テ居ル、是等ハ今ノ十五年デ一本モ木ガ來ナイト云フコトニナッタ場合ニ、紙材ヲ如何ニシテ賄フ積リデアルカ、農林省ノ方ヘ言ヘバ、増産計畫ニ對スル分ダケハ確信ヲ持ッテ居ルト云フコトデア

ノデアリマス、商工當局ノコトハ先程モ申上ゲタ通り、其點ハマダ對策ガハッキリ立ッテ居ラレヌヤウデアリマス、是等ニ付テ企畫院トシテハ相當ナル計畫ヲ立テテ居ラレルコトデアラウト思ヒマス、先ヅ其點ヲ御伺致シタイト思フノデアリマス

○青木政府委員 「パルプ」ノ問題ニ付キマシテハ、我國ノ國際收支ノ現況其他カラ、出來ルダケ輸入ヲ減ラス爲ニ、國內ノ増産計畫ヲ急イデ立テナケレバナラス、然ルニ其關係スル所ハ只今御話ノ如ク、或ハ農林省、商工省或ハ内務省、拓務省ト云フヤウニ方々ニ關係ヲ持ッテ居リマスノデ、此増産計畫ヲ圓滑ニ行ヒマスル必要上、企畫院ニ於テモ數回會議ヲ開キマシテ、各省ノ意見ノ一致ヲ見ルヤウニ盡力致シタコトハ御説ノ通りデアリマス、併ナガラ其眼目ハ、先程ノ御話ノ中ニモアリマシタ如ク、設備ノ新設擴張、或ハソレニ對スル資材ノ供給ヲ確保シテ、兎ニ角如何ニシテ差當リノ生産ヲ殖ヤスカト云フコトヲ眼目ニシテ、各省共御協議ニナツタノデアリマス、併ナガラ計畫其モノハ只今申上ゲマシタヤウニ、各省ニ於テ實行ノ衝ニ當ルノデアリマシテ、是等ノ各省ノ方針トシテハ、既ニソレノ當局カラ御話ガアッタコトト思ヒマスガ、ソレ

等ノ計畫ト離レテ企畫院自體ノ計畫ト云フモノガ別ニアル譯デハアリマセヌ、隨テ具體的ナ計畫其モノハ、各省デソレノ御當リニナルト云フ立場カラ、私共モ其内部的ノ斡旋ト申シマスガ、政府ノ方針ノ纏ルヤウニ盡力シテ居リマスガ、企畫院ノ性質上ソレト相違ンデ別ノ計畫ガアルト云フコトハナイノデアリマスカラ、各省ノ御説明ニ依ッテ御諒承願ヒタイト思ヒマス

○高橋委員長代理 手代木君、出來ルダケ簡潔ニ御願致シマス

○手代木委員 是ハ重要ナル問題デアリマスカラ、サウ簡單ニ片附ケル譯ニハ行カナインデス、需給調節トカ何トカ言ッテ所デ、根本ガ立タナイノニ調節ナド出來ルモノデハナイ、資材ガ得ラレナケレバ「パルプ」ノ問題ナドハ「ゼロ」ニナツデシマフノデアルカラ、サウ云フ御積リデ御聽キラ願ヒタイ、承リマス、樺太廳竝ニ北海道廳ニ對シテ、是々ノ工場ニ對シテ斯様ナ資材ヲ供給シロト云フコトヲ、企畫院カラ通牒セラレタヤウニ聞クノデアリマス、増産ニ對シテハサウ云フコトヲヤラレル、成程増産計畫ヲヤルコトハ宜シイガ、一方既設工場ノ資材ガ無クナツデシマヘバ、ソレダケ減産ニナル、左様ナコトデハ増産計畫モ無意味ニナツデシマ

フ、其處ニ矛盾ガアルノデハナイカト思フ、今ノ御話デハソレノ官廳デアレト云フコトデアリマスケレドモ、農林省ニ聞ケバ、増産計畫ダケノモノハ間伐材デ充テルヤウニ計畫ヲ立テ、昭和十七年マデハ決シテ遺漏ハアリマセヌ、ト言フケレドモ、ソレハ増産計畫ニ對スルコトデアリマス、商工當局ニ伺ヘバ、今ノ山ノ問題ハ直接商工省ガ關係出來ナイカラ、間接ニ農林省ナリ、内務省ナリ拓務省ニヤッテ貫ヒタイト云フコトヲ協議スルダケノ力ヨリナイ、ソレデ各省ガ成ベク伐ラナイヤウニト云フヤウナ意嚮ヲ今日持ッテ居ルトスレバ、困ル者ハ業者ダケデアツテ、隨テ皆サンノ御立テニナツタ此計畫其モノニ齟齬ヲ來スコトニナルノデアル、ソコデ私ハ企畫院トシテハモウ一步踏込ンデ、今申上ゲタヤウニ北海道廳ナリ樺太廳ナリニ、オ前ノ所カラ是ダケノモノヲ年々供給シロト云フコトヲ言ッテヤラレル、其命令ニ依ッテソレノ供給シテ居ルト云フコトデアリマスナラバ、此既設工場ニ資材ガナイ、先程表ヲ讀上ゲマシタヤウニ、此表ニ依ルト、百%樺太材ヲ使ッテ、北海道材ヲ使ッテ居ルモノハナイト云フコトデゴザイマスカラ、北海道廳ノ内務省關係ノ資材ノ方ハ問題ニナリマセヌガ、樺太廳ノ

方ノ關係ノモノヲ、此通り王子ニシテモ百%使ッテ居ル工場ガアルシ、左様ナ工場ガ十一工場アル、ソレガ皆切レテ來タ時ニハドウナルカ、其處ノ關係ヲモウ少シシツカリ押ヘテヤッテ行カスト、必ズ其時ニナツテ減産ト云フコトニナツテ來ル、サウカト言ッテ無暗ニ内地ノ山ヲ伐リマス、水ノ方ニ關係シテ來ルノデアリマスカラ、非常ニ大問題ガ起ル、既ニ各地ニ於テ山林ノ過伐ノ爲ニ洪水ガ起ッテ居ルノデス、サウ云フヤウナ關係ガアリマスカラ、内地ノ山ヲ是以上無暗ニ伐ルト云フコトニ付テハ、一體ドレ程餘力ガアルノデアルカ、是ハ大イニ研究ヲ要スル問題ダト思フノデアリマス、間伐材ダケデ賄ヒ得ルカドウカ知りマセヌガ、今日ハ過伐ダト一言ヒナガラ、樺太カラ資材ヲ求メルヨリ他ニ方法ガナイ、樺太ノ山ナラバ假ニ過伐シテモ土地ノ關係上洪水ノ憂ガ内地ヨリモ少イ、私ハ樺太モ北海道モ能ク承知シテ居リマスガ、樺太ナドハ少シ伐リ過ギテ洪水ガアツタ所デ、被害ヲ受ケルコトハ少イカラ、同じ過伐デモ其方ハ忍ビ得ルト云フコトガアリマスノデ、何トカ既設ノ工場ニ對シテ今マデ百%ヤッタモノハソレダケヤラスデモ、セメテ其六割ナリ五割ナリ足りナイ所ヲ、他ノ方法デ補フト云フヤ

ウナコトガ之ニ伴ハナケレバナラスト考ヘ
ルノデアリマス、其點ニ付テ今マデサウ云
フコトガナイナラバ、是カラドウナサレル
カ、今申上ゲタコトニ付テ企畫院トシテノ
御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○青木政府委員 先程申上ゲマシタ如ク、
政府ハ我國ノ生産額ヲ早ク殖ヤスコトヲ終
局ノ目的トシテ居リマスノデ、一方ノモノ
ニ付テ殖ヤシ、一方ノモノニ付テ減ラスト
云フコトハ、其目的ヲ達シナイコトニナリ
マス、此點ハ十分ニ各省デ處置シテ行クコ
トト考ヘテ居リマス、尙ホ今後恆久對策ノ
必要ナルモノニ付テハ、又改メテ各省ト協
議ヲシテ本當ニ國策ヲ立テタイト考ヘテ居
ル次第デアリマス

○手代木委員 今ノ御話デハ、恆久策ト仰
シヤルケレドモ、個人年期ハ昭和十五年デ
無クナルカラ、來年、再來年デソレ等ノ工
場ニハ一本モ木ガ來ナイコトニナリマス、
サウ云フヤウナ方面ニハ速ニ對策ヲ御立テ
願ハナケレバйкаスト思ヒマス、ソレデ企
畫院ト樺太廳トデモ御相談ニナルナラバ、
或ル程度ノ解決ガ付クコトダと思フノデア
リマス、ソレデ此間商工省當局ニモ此「パ
ルプ」ノ節約、或ハ廢物ノ利用、或ハ間伐
材ノ利用、木屑ノ利用等色々ナコトヲ申上

デマシタガ、斯ウ云フコトモ企畫院トシテ
ハ十分考慮ノ中ニ入レラレテ、尙ホ一段ノ
御調査ナリ御研究ヲ願ハナケレバナラスト
トダト思ヒマス、唯念ノ爲ニ伺ヒマスガ、
今度ノ計畫ヲ御出シニナル時ニ、「パルプ」
ノ節約或ハ廢物ノ利用ト云フヤウナ點ニ付
テ、何カ御考ニナツタ點ガアリマセウカ

○青木政府委員 出來ル限リサウ云フ方面
ノ研究モ致シテ居リマス

○手代木委員 私ハ是デ終リマスガ、先程
カラ申上ゲル通りニ、要スルニ「パルプ」問
題ハ日本トシテハ資材ノ問題デアルト思ヒ
マス、此資材ヲ十分ニ潤澤ニ與ヘ、是ガ永
續出來ルト云フコトニナレバ「パルプ」ノ國
策ナドハ何デモナイコトデスカラ、此點ハ
特ニ其資材ノ永續スルコトトカ、既設工場
新設工場ガ滞リナク運轉出來ルヤウニ、其
點ニ付テ各省當局トシテ御考慮ヲ御願致シ
マシテ、私ノ「パルプ」ニ關スル質疑ハ打切
リマス

○星島委員 「パルプ」ノコトニ關シテ一點
ダケ御伺致シマス、私ハ新聞紙ノ「パルプ」
ニ付テ、商工大臣並ニ局長其他ニ御伺シタ
イノデスガ、之ニ付テハ今新聞社同志ノ間
ニ於テ色々運動ガアルラシイ、私共ソレヲ
聞キマシテ、非常ニ同感スルコトガアルノ

デス、ソレハ今日新聞紙用ノ「パルプ」ガド
レダケ外國カラ輸入サレテ居ルカ、或ハ今
日ドレ程足リナイカ、其點ハ能ク存ジマセ
ヌガ、ソレガ分ッテ居レバ御知ラセ願ヒタイ
ノデアリマスガ、此長期戰時體制下ニ於キ
マシテ諸種ノ統制、色々ナコトガ行ハレテ
居ル際ニ、言論機關ニ御遠慮ナサツテ、新聞
紙ニ關シテハ殆ド手ヲ付ケテ居ラセマセヌ、

私ハ是ハ新聞社側ニ於キマシテモ、自ラノ
自壞作用ニ於テ色々考ヘテ居ラレルコトト
思フノデアリマス、是ハ主管省ノ内務大臣
ニ何時カ御尋シタイト思ッテ居リマスガ、新
聞其モノニ對スル色々ナ根本的ノ問題ガア
リマス、是ハ此委員會デ御聽キスル限リデ
アリマセヌガ、併シ企畫院ト致シマシテハ、
殊ニ新聞紙ニ關スル諸種ノコトガ考ヘラレ
ル中ニ、現在ニ於キマシテハ此「パルプ」ニ
關スル問題ガ主トシテ考ヘラレルト思フノ
デアリマス、業者ノ調査シタ所ニ依リマス
レバ、現在地方新聞ハ殆ド十二頁デアリマ
ス、尤モ最近報知ガ十二頁ニナツタノデス
ガ、東京ノ大新聞及ビ地方ノ福岡日々、新
愛知、名古屋ト云フヤウナモノヲ除キマス
レバ殆ド十二頁デアリマス、十二頁以上ノ
新聞社、即チ十四頁以上十八頁ノガ十三社
アルト云フノデアリマス、ソレガ全部十二

頁立ニナリマスト實ニ一日ニ七百萬枚、即
チ七千連、一箇月二十一萬連、一年ニ二百
五十萬連、價格ニシマシテ實ニ一千万圓、
材木ニシテ六十萬石ト云フモノガ節約サレ
ルト云フヤウナコトヲ、其道ノ人ガ言ッテ居
ルノデアリマスガ、私ノ御伺シタイ點ハ、
今企畫院ニ於キマシテ既ニ斯ルコトヲ考ヘ
テ居ラレルデセウカ、即チ新聞社同志デ極
端ナル競争ヲ致シタ結果、讀者ヲ釣ランガ
爲ニ、新聞社トシテハ苦シイナガラモ無暗
ニ増頁ヲ致シタリ、非常ナ廣告ヲヤッテ紙面
ヲ潰スト云フヤウナ譯デ、其日々々々競争
ニ暮シテ居ル、是ハ新聞社側ニ於キマシテ
モ統制サレタ方ガ非常ナ利益ガ浮ブト私ハ
思フノデアリマス、私ノ御伺ヒスル點ハ二
點デアリマシテ、商工大臣ニ御尋シタイ點
ハ、商工大臣ト致シマシテハ丁度百貨店ガ
統制サレタヤウニ、今日ノ言論機關ヲ殆ド
自由放任ニ任セナイデ、或ハ區域ヲ限リ、
或ハ現在ノ新聞社ヲ中心ニシテ一種ノ統制
ヲ加ヘラレタ方ガ、新聞社自ラモ仕事ヲヤ
リ易イガ、全體ノ色々ナ資源ノ調整ノ上ニ
於キマシテモ、非常ニ宜イト思ヒマスルガ、
斯ウ云フ點ニ付キマシテ考ヘテ居ラレル
カ、殊ニ新聞用ノ「パルプ」ニ付キマシテハ
何カ御考ガアリマスルカ、企畫院ニ對シマ

シテハ、新聞全體ニ付テ、或ハ新聞紙法其モノノ改正ニ付テ、斯ウ云フ時局下ニ於キマシテ何カ御考ガアリマスルカ、殊ニ「パルプ」ニ付キマシテサウ云ツクヤウナ意味ノ御計畫ガアルカドウカラ御伺シタイノデアリマス

○吉野國務大臣 御話ノ點ハ商工省ノ立場ト申シマスカ、殊ニ物資ノ關係カラ言ヘバ大變望シイコトダト思ヒマスケレドモ、併シ其新聞紙ノ業其モノニ對シテ統制スルシナイト云フコトハ、私カラ意見ヲ申上ゲルノハ適當デナイト思ヒマスカラ、差控ヘタイト思ヒマス

○青木政府委員 「パルプ」ノ消費節約ト云フヤウナコトニ付キマシテモ、今後十分研究ヲ進メテ行キタイト思ッテ居リマスガ、只今ノ所御尋ノ如キ新聞紙ノ節約案ト云フヤウナモノヲ、マダ決定致シテ居リマセス、今後調査ヲ致シタイト思ヒマス

○星島委員 他ノ小サイ仕事ニ對シテハ極端ニ隨分御考ヘニナリマスガ、斯ウ云フ大キイ問題ニ付キマシテハ、新聞社ト云フモノニ對シテ御遠慮ガアルノデゴザイマスルカ、今マデ何等御計畫ガナイト云フコトヲ私ハ遺憾ニ思フ、私ハ主管大臣タル内務大臣ニ對シマシテ、機會ヲ得マシテ其他ノ點

ニ付キマシテモ質疑シタイト思フノデアリマスガ、ドウゾ其際ニハ此問題ニ對シマシテ御協力ノ上、モット根本的ニ御研究アラシコトヲ希望致シマシテ、私ノ質問ヲ終リマス

○渡邊委員 私モ大臣ニ簡單ニ質問ヲ致シマス、商業組合法ガ改正サレマシテ、統制其他ガ強化サレマシタコトハ、私共大體時局下ニ於テ贊意ヲ表スルノデアリマス、ソコデ此機會ニ敢テ商工大臣ニ、綿絲ノ配給等ニ付テ承ラネバナラナイト云フ事態ニナツテ居ルコトヲ、御諒承ヲ願ッテ置キタイノデアリマス、即チ商業組合法第七條ニ於テ販賣及ビ數量等ニ付テノ統制ヲセラレルノデアリマスガ、今日ノ綿絲ノ配給ノ現狀ニハ

洵ニ遺憾ナ點ガ多イ、然ラバ商工大臣ハ遺憾ナ點ガアルナラバ言フ通りニ直セバ宜イデハナイカ、斯ウ仰シヤルコトノ御意思ニ付テモ私ハ喜ンデ居ルノデアリマス、併ナガラ此際大臣ニ懇ヘナケレバナラス今日ノ現狀ハ、愛知縣ノ產地ノ大問題デアルカラデアリマス、尾張郡ノ數組合ガ昨日來來テ居リマシテ、色々其困憊ノ狀況ヲ傳ヘテ居ルノデアリマス、其大體ヲ申シマス、割當ヲ以テ所要ノ綿絲ヲ求メントシテ、地元綿絲商ニ買ヒニ行キマシテモ手許ニ絲ガナ

イ——是ハ商務局長サンノ係リデアラウト思ヒマスケレドモ、手許ニ絲ガナイ、是ガ第一點デス、第二點ハ綿絲商ノ賣惜ミヲ防グ爲ニ、何トカ御考慮ヲ願ヒタイ、即チ紡績業者ト直約ノ伺法ト云フモノガナイノデアリマセウカ、此點ニ付テ本當ノ現狀ヲ御聽キヲ願ヒタイ、織物ノ原料ノ綿絲ハ三月一日

カラ配給制ヲ實施サレタノデアリマスガ、愛知縣ノ尾西、尾北ノ產地ノ綿絲商店ノ手許ニ絲ガナイノデアリマシテ、國用綿絲ノ紡績ガ混用令ガ布カレマシテ、尙日ガ淺イノデアリマスカラ、多少ノ隱忍自重ハスルノデアリマス、併ナガラ實施後、三月一日カラ今日ガ十五日、半月ヲ經過シマシテモ猶各商店ニハ綿絲ノ手當ガナイノデ、組合員ノ千數百ト云フヤウナ工場ガ、從業者ト共ニ枯死ニ陥ラントシテ居ルノデス、一万數千ノ從業員ハ徒食スルノ已ムナキ狀態ニ

迫ッテ居ルノデアリマス、國策ハ斷ジテ斯様な平和産業ヲ壓迫スルガ如キ精神デナイコトハ、勿論デアルト思フノデアリマス、此產地ノ窮狀ヲ表明スルコトハ、洵ニ遺憾デアリマス
ソレカラモウ一點ハ、綿絲ノ最高價格ヲ公定セラレマシテモ、取引ニ際シテ之ヲ實行スル者ハ殆ド今猶現在皆無ノ實情デア

ノデアリマス、所要ノ綿絲ノ外不要ノ何物カラ不當ナル高價ニテ購入セザレバ、綿絲ヲ求ムル能ハザルノガ一般的狀況デアルノデアリマス、例ヘバ此綿絲ヲ買ヒタイ、サウ言ヒマス、オ前ニハ之ヲ賣ッテヤル、併ナガラ「ステープル」ヲ買ヘトカ人絹ヲ買ヘトカ言ッテ、他ノ餘分ノモノヲ買ハナケレバ賣ッテ呉レナイ、是ガ本當ノ現狀デア

ル、サウ致シマス、折角配給券ヲ得テモ、其割當券ヲ持ッテ行ッテ、ソレガ空券ニ終ルナラバ、翌月ノ割當ハドウナルデアリマセウカ、又モウ一ツ申上ゲタイコトハ、元賣捌人ト云フノガ大阪ニ六六%集ッテ居ル、名古屋ニ八二%シカ集ッテ居ラナイ、實際ノ綿絲ノ使用ハ、是ハ全國デ愛知縣ガ首位デア

ルコトハ能ク御分リデア

カラ十月マデハ人絹織物ヲ作ルトカ、一年中ノ織物ノ見透シガナイ、ソコデ平均シテ割ラレテ配給ヲ受ケルト、或ル工場ニ於テハ季節又ハ註文ノ工合デ十分ノ一ニモ二十分ノ一ニモ足りナイコトガアル、又或ル所デハソレガ剩ッテ居ル、所謂季節ニ依ッテ違ッテ來ル、毛織物ノ例ヲ言ヒマスレバ、綿絲ノ多イ兒服地ヲ作ル時ト、背廣地又ハ「サージ」ノ如キ毛絲ヲ多ク必要トスルモノヲ作ル時トハ違ッテ居ル、綿絲ノ必要量ニ大差ガアル、ソレヲ平均シテ配當サレマスレバ、其織物製造家ハヤッテ行ケナイ、殊ニ愛知縣ノ實情ヲ申シマスルト、多角複雑ナルコトガ特徴デアル、之ヲ假ニ織物消費稅カラ眺メテ見マシテモ、昭和十一年デアリマスガ、全國デ四千二百萬圓、其中デ愛知縣ハ三割以上納メテ居ルノデアリマス、其中デモ各種別ニ分ケテ見マス、雜織物ト云フモノガ二百八萬六千圓アリマス、愛知縣以外ノ他府縣デ雜織物消費稅十萬圓アル所ハ、日本中デ各府縣ヲ通ジテ一ツモアリマセス、所謂毛織物トモ付カズ、綿織物トモ付カズ、雜織物ガ斯様ニ斷然多イノデアリマス、如何ニ愛知縣ノ機業家ガ多種多樣デアルカ、斯ウ云フ現狀デアリマスカラ、此配給ニ付キマシテハ何トカ速ニ御考慮願ヒタイ、組

合ノ者ガ數組合モ上京致シマシテ、今日商工省ニ陳情ニ參ッテ居リマス、出來得ルナラバ此組合ヲ單位トシテ、組合デ配給スルヤウナ方法ニ改正ガ出來ナイカ、モウ一ツハ大阪ノ方ニ綿絲商、所謂元賣捌人ガ多クアツテ名古屋ニハ少イ、態、大阪マデ買ヒニ行ッテモ中々賣ッテ呉レナイ、是ハ本當ニ泣クニモ泣ケナイ今日ノ現狀デアルノデアリマス、斯ウ云フ點ニ付テ大臣ハ何トカ之ニ對シテ速ニ御善處ヲ御願シタイ、其他私ハ商業組合ノ此法規ニ付テ、幾多ノ質問ガアリマスケレドモ、只今ハ此一點ニ止メテ置キタイ、後ハ政府委員カラ伺フコトニシテ、特ニ今ハ大臣ニ對スル質問ダケト云フコトデアリマスカラ、御遠慮申上ゲタイと思ヒマスガ、此點ニ付テ大臣ノ親切ナル御答辯ヲ煩シマ

三月ニ配給券ヲ得タモノヲ四月ニ使フ外ナイノデアリマスガ、之ヲ許サレマスカ、ドウデセウカ、三月ノ配給券ヲ四月ニ使ッテモ宜イノデゴザイマセウカ、本當ニ死活問題デス、方法ヲ御即答出來ナイデスカ、當業者ハ非常ニ困ッテ居ルノデアリマス、私ガ御尋スルノハ三月ノ配給券ヲ四月ニ使フコトガ出來ルカト云フコトデス

○吉野國務大臣 只今初メテ其御話ヲ伺フノデアリマスガ、何レ其御話ハ商工省ニ參ッテ居リマセウカラ、篤ト業者ト相談シテ、サウ云フコトノ無イヤウニ努メマス、斯ウ云フコトヲ申上ゲテ置キマス

○渡邊委員 有難ウゴザイマス、突然ノコトデ、今迄迄ノコトハ御存ジナイコトハ已ムヲ得マセス、私モ實ハ斯程マデデナイト云フコトヲ思ッテ居リマシタ、唯此處デ特ニ御諒解ヲ願ッテ置キタイコトハ、愛知縣ノ産地、殊ニ尾西尾北地方ハ複雑ナル特異性ガアル、ソレデ綿絲ノ配給等ニ於キマシテモ、一年ノ平均割デハ其多クノ工場ハ操業不能デアル、斯ウ云フ點ヲ一ツ能ク御諒承ヲ願ッテ置キタイノデアリマス、ソレカラ此綿絲ノ配給ノ本元ハ商務局長サンデアリマセウガ、其點ノ實情ハ局長サン御承知デアリマセウカ、ドウデセウカ、一應御答辯ヲ願ッテ

置キマス

○新倉政府委員 只今御述ニナリマシタ具體的ノ事實ハ、マダ聞イテ居リマセスガ、色々配給問題ニ付テハ、考慮シナクテハナラナイ問題ガ多イト云フコトハ吾々モ考ヘマシテ、大臣ノ仰セノヤウニ此點ニ付テハ出來ルダケ努力ヲシタイ、斯ウ思ッテ居リマス

○渡邊委員 御承知ト思ヒ我慢ガ出來ヌカラ御伺スルコトデアル、其満足ヲ得ル御考慮ヲ速ニ御願シマス、組合ノ各幹部ノ者ガ言フ所ニ依リマス、組合員ガ千數百名モ居ル中デ、僅カ五人位シカ綿絲ノ配給券全部ヲ使ッタモノガナイ、斯ウ云フヤウナ狀態ガ事實デアリマス、實ニ産地ノ實情ハ哀レナモノデアリマス、何トカ一ツ至急ニ御調査ニナッテ、サウシテ此問題ハ今回ノ商業組合法改正ノ第七條ニ依ッテ必ズ善處シナケレバナラヌモノデアリマス、至急折角御調査ヲ願ッテ置キタイ、尙ホ私ハ此機會ニ一ツ御願シタイコトハ、洵ニ御多忙中デ恐縮デアルト思ヒマスケレドモ、何トカ一ツ産地ヘ役人ヲ派シ至急ニ調査ヲセラレテ、サウシテ是ガ善處ヲセラレタイト云フコトヲ強く要望致シマシテ、大臣ニ對スル質疑ヲ打切りマス、併シ其他ノ質疑ニ付キマシテ

ハ尙ホ澤山アリマスノデ、保留シテ置キマス

○高橋委員長代理 次ニ板野君ノ御質疑ヲ御許シ致シマス

○板野委員 私ハ有價證券業取締法案ニ付テ政府ニ御伺シタイノデスガ、政府ノ提案理由ノ御説明ニ依ッテモ、有價證券ノ融通ノ圓滑ト取引ノ安全ヲ圖リタイ、斯ウ云フ御趣旨ノヤウデスガ、政府ニ於テモ十分御承知

ガラウト思ヒマスガ、有價證券業者、所謂現物屋ガアッテ、有價證券ノ取引ニ付テ賣買ノ行爲ヲヤッテ、其取引ハ援ケマスガ、一面

ニ於テ極メテ弊害ガアルコトハ、御承知ダラウト思ヒマス、ソコデ今度有價證券業取締法案ヲ提出ニナッタノデアリマスガ、先ヅ最初ニ第二條ニ今迄自由營業デアッタ此有

價證券業ヲ、免許營業ニスルト云フコトニナッテ居リマスガ、私ハ此際此免許ニ付テ

ハ、宜シク嚴選主義ヲ取ラレル必要ガアルト思ッテ居ル、ソコデ此免許ノ方針デスガ、是ハドンナ者ニ許スカ、ソレカラ之ニハ營業保證金ヲ納メサスノデアリマスガ、其標準ハ全體ノ位ナ金額デスカ、其免許ノ標準ニ付テ政府ノ御方針ヲ承リタイト思ヒマス

○吉野國務大臣 大體ノコトヲ私カラ申上

ゲマスガ、御所見ト私ノ考ト全ク同ジデゴザイマシテ、隨ヒマシテ普通ノ立法例ノ如クニ、現在アルモノヲ經過的ニ皆救フト云フコトハ、是ハ致シテ居リマセヌ、ヤハリ皆嚴選スル主義デゴザイマス、而シテ免許ノ方針ナリ、ソレカラ保證金ノコトニ付テハ、政府委員カラ御答致シマス

○新倉政府委員 有價證券業者ノ免許ノ方針ニ付キマシテハ、是ハ本法ノ目的ト致シマスル所ニ依リマシテ、當然ニ此資力信用

ガ有價證券業者トシテ適當デアル、ト云フコトデナクテハナラスト存ジマス、ソレデ個々ノ業者ヲ許シマス場合ニ、其人ハ資力信用ガアルカドウカト云フ點ヲ考ヘマスル場

合ニ於キマシテハ、是ハ勿論各地方ノ狀況ト云フヤウナモノモ念頭ニ置カナクテハナリマセヌノデ、例ヘバ東京、大阪ト云フヤ

ウナ所デ現物商ヲヤリマス場合、其他地方デヤリマスル場合、又同ジク現物商ヲヤリマスル場合ニ致シマシテモ、普通ノ勸業債

券等ノミヲヤリマス者ト、其他ノ一般有價證券ヲヤリマス者ト云フヤウナコトニ依リマシテ、區別ヲ付ケテ行カナクテハナラヌダラウト存ジマス、ソレデサウ云フ事情カラ、其人ノ資力信用ト云フコトニ付キマシテモ、或ル程度ノ差異ヲ設ケテ考ヘルト云

フコトニ致シマスノデスガ、ソレニ付キマシテハ從來ヤッテ居リマスル狀況ニ付キマシテモ、相當調査ハシテ居リマスルシ、又昨年來有價證券ノ移轉稅ノ關係モゴザイマシテ、各種ノ事項ヲ届出モシテ居リマス、

サウ云フ事項ニ付テモ參考資料トシテ調査シタイト考ヘテ居リマス、尙ホ營業保證金ニ付キマシテハ、是モ今申シマシタヤウニ

大都會ノ場合ト、ソレカラ地方ノ場合ト、扱ヒマスル證券ノ區別ニ依リマシテ、自ラ差異ヲ設ケナケレバナライト考ヘテ居リ

マス、大體ニ於テ五百圓乃至五千圓ノ程度ニ致シタイ、ソレデ東京、大阪等ニ於キマシテ、一般有價證券ノ現物商ト云フモノハ、

五千圓位ノ營業保證金ヲ納メサセルノガ適當デハナイカト考ヘテ居リマス

○板野委員 今取引所ノ中ニ實物取引ダケヲヤッテ居ル取引員モアリマス、アレト今度ノ此法律ニ依ッテ有價證券業ノ免許ヲ受ケ

多額ノ金ヲ納メテ居ル、東京デハ三萬圓位

ニナッテ居ルカト思ヒマス、無論ハ土地ニ依ッテハ分ケナケレバイケマセヌカラ、今

新倉政府委員ノ仰シヤルヤウニ、東京、大阪ニ於テハ五千圓程度、一般ニハ五百圓乃至五千圓ト云フヤウナ、御方針ノヤウデス

ガ、是ハ少シ低イコトハナイカ、少キニ失シハシナイカト思フ、ダカラ田舎ノ小サイ

所ハ別トシテ、東京、大阪ノ如キ場所ニ於テハ、マア是モ皆違ヒマスケレドモ、大

キイ者ニナルトソレハ連モ大シク現物屋デスカラ、之ヲ大體最高ヲ五千圓ト云フノ

ハ、ドウモ低過ギヤシナイカト思ヒマスガ、私ガ只今申シタコトハ、モウ少シ範圍ヲ廣クシ、東京、大阪ノ如キニ於テハ、此保證

金ノ性質カラ考ヘテ、モウ少シ取ル必要ガアリハシナイカト思フノデス、重ネテ政府

ノ御意見ヲ伺ヒマス

○吉野國務大臣 只今政府委員カラ申上ゲマシタノハ、一ツノ腹案ヲ申上ゲタノデアリマス、而シテ今ノ取引所ノ實物取引員ノ營業保證金トノ間ニ、非常ニ開キガアルヤウナ考ヘ方ヲ致シマシタノハ、實際問題トシテハ、取引所ノ方ノ實物ノ取引員ノ取扱ヒマス高ガ非常ニ多イノデアリマシテ、所謂現物商ト云フモノトハ取扱數量ガ非常ニ

違ヒマスモノデスカラ、特ニサウ云ツタヤ
ウナ差ヲ付ケタノデアリマス、併シ是ハ別
ニ決ツタコトデモゴザイマセスシ、御話ノ點
ハ十分ニ考慮シテ見タイト思ヒマス

○板野委員 是ハドウモ、私ハ大臣ナリ政
府委員ノ前デ斯様ナコトヲ申シタクナイノ
デスガ、隨分都會ニ於テモソレカラ地方ニ
於テモ、此現物屋ノ爲ニ迷惑ヲ受ケル者ハ
實ニ多大ナルモノデス、一面カラ見マス、
一切地方ノ經濟界ノコトナドヲ知ラス人ヲ
相手ニヤル、此種ノ取引ハ總テ禁ジナケレ
バナラスカト思フ程ノ弊害ガアルヤウニ思
フ、都會ニ於テモアルノデス、都會ニ於テ
モ隨分不都合ナ者ガアル、客ノ方デチャ
ント利ニナツタ所ガ、信用ノナイ小サナ者ハ利
ニナツテモ勘定ラシテ呉レヌ、實際困ツタモ
ノデアル、只今政府ノ方デモ嚴選主義デ進
マレル御方針デアルコトヲ承ツタノデアリ
マスガ、此際遠慮ハ要ラナイノデス、總テ
ノ保證金ナリ其他ニ遠慮シナイデ嚴選主義
デ、今マデ現物屋ヲヤツテ居ツタ者デ、多少
節落サレル者ガ出來テモ、是ハ一般ノ爲ニ
ハ其位ノ犧牲ハ已ムヲ得ヌ、其覺悟ガ必要
デアルト思フノデス、大抵政府ノ意向ハ分ッ
テ居リマスガ、尙ホ重ネテ此點ニ付テ御答
ガ得ラレ、バ伺ヒタイト思ヒマス

○吉野國務大臣 現在ノ營業者ニ餘リ苛酷
ナ影響ハ與ヘタクナイト存ジテ居リマス
レドモ、併シ御話ノ通りニ現狀カラ見マシ
テ、多少節ニ掛ツテ落サレル者ガアル、斯ウ
云フ期待ヲ持ツテ居リマスモノデスカラ實
ハ先程申上ゲマシタ通り、此附則ニ於キマ
シテモ總テ現狀ノ儘救ハナイ、斯ウ云フ方
針ヲ採ツタノデアリマス

○板野委員 詳細ナルコトハ御多忙ナ大臣
ヲ煩ハサナイデ、政府委員カラ何レ日ヲ變
ヘマシテ御答辯ヲ得タイト思フテ居リマス、
唯此際大臣ニ御伺シテ置キタイト思フ一點
ハ、第十四條デアリマス、所謂差金取引デ
ス、十四條第二號「業務ニ關シ差金ノ授受
ヲ目的トスル行爲ヲ爲シタルトキ」斯様ナ
行爲ヲ爲シタル時ニハ主務大臣ハ免許ヲ取
消シ、又ハ業務ノ停止若クハ制限ガ出來ル、
此規定デス、是ハ當然ノ規定デアルト思フ
ノデス、思フノデスガ從來現物屋ニ對スル
判例ナドヲ見マスルト、業務ニ關シ差金ヲ
目的トスル行爲ト云フコトニ對スル裁判所
ノ解釋ガ、初メカラ其現物ノ授受ヲスルト
云フ意思ハナクシテ、差金取引ヲ目的トシ
タ行爲デナケレバ——取引所法ニ之ト同ジ
趣旨ノ規定ガアリマスガ、其取引所法ノ丁
度本法ト同一趣旨ノ規定ヲシタモノニ當ラ

ナイト云フ裁判所ガ判例ヲ示シテ居ル、ソ
レデアリマスカラ、一寸初メカラ現物ノ授
受ガ目的デアッタノダト言ヒサヘスレバ宜
イ、ソナモノハ殆ドアリハセヌ、現物ノ
賣渡ヲシヨウトハ思フテハ居ナイノデ、初メ
カラ差金授受ヲ以テ決濟スル爲ニ總テ現物
屋ノ手ヲ經テヤルノデス、ケレドモ差金授
受ガ目的デハナカツタノダト云フ當事者ノ
言葉ニ依ッテ、本法ト同一規定ヲシタ取引所
ノ規定ヲ潜ルコトガ出來ル、ソコデ法文ノ
上カラ見ルト此規定ハ洵ニ立派デスガ、實
際ニ於テモグリ、即チ取引所外ニ於テ差金
取引ヲ目的トスル行爲ヲヤルコトヲ止メル
コトガ出來ナイデス、ダカラドウモ此文字
ダケデハ、主務大臣ガ免許ヲ取消シ若ハ業
務ノ停止若ハ制限ヲ加ヘルト云フ實際ノ働
キヲ所期シ得ナイ、私ハ斯ウ云フヤウナ懸
念ヲ懷ク者デアル、此點ハドウ云フヤウナ
御考デスカ

○吉野國務大臣 御尤ナ御尋デゴザイマス、
私モ裁判所ノ取引所法ニ關シテノ判例ニ、
サウ云フ判例ノアツタコトヲ承知シテ居リ
マスガ、ソレデハ少シ窮蹙過ギルト思フノ
デアリマス、目的バカリニ重キヲ置キマス、
何遍同ジヤウナコトヲヤツテモ、今御話ノ通
リ俺ハサウ云フ目的デナカツタノダ——言

ヘバ逃レル譯デアリマスカラ、私共ノ方針
ト致シマシテハ、數回繰返シテサウ云フコ
トヲヤツタ場合ニハ、差金ノ授受ヲ目的トス
ル行爲ヲ爲シタモノトシテハ、十四條ノ適
用ヲスル考デアリマス、併シ是ハ細カイ問
題デアリマスケレドモ、ト云ツテ「目的」ヲ
取ツタノデハ、サウ云フコトハ實際ハ少イ
デアリマセウケレドモ、サウ云フ目的モ何
モナクテ、途中デ出來心デ唯一回サウ云フ
コトヲシテモ、十四條ヲ適用スルコトハ酷
デハナイカ、斯ウ云フ考カラ「目的」ト云フ字
ヲ入レマシタケレドモ、運用ニ付テハ二度、
三度ト數回重ネテヤツタ場合ハ之ヲ適用ス
ル積リデアリマス、板野サン御承知ノ通り、
裁判所ノ判例ニ於キマシテモ、今述ベタヤ
ウナ見解ヲ採ツタ判例モ——取引所法ノ解
釋ニ付キマシテハ、前ノヤウナ窮蹙ナ判例
デナシニ、サウ云フ判例モ出デ參ッテ居リ
マスカラ、先ヅ是デ御話ノヤウナ目的ハ達
セラレルモノト考ヘテ居リマス

○板野委員 私ノ大臣ニ對スル質問ハ是デ
終リマシテ、他ノ政府委員ニ對スル質疑ハ
後デヤリマス
○小山委員 關聯シタコトデ伺ヒマスガ、
前ノ板野君ノ御質問ノ通り、全國ニハ數千
人ノ現物商ガアルノデアリマスガ、其現物

商デ昨年制定サレタ移轉稅ヲ納メタ者ハ先
ヅ之ヲ免許シテ、ソレカラ違法ノアツタ場
合ニ取消スト云フ方針デアリマスガ、ソレ
トモ又現在ノ儘ニシテ置イテ、其中カラ嚴
選シテ免許ヲ與ヘルト云フノデアリマスガ、
ドチラヲ採ルノデアリマセウカ、先ニ與ヘ
テ置イテ取消スノカ、或ハ是カラ先ニ免許
ヲ與ヘルノデスカ

○吉野國務大臣 先ニ免許ヲ與ヘナイデ、
總テ此法律ニ依ッテ願ハナケレバナラスノデ
ス、併シ法律ヲ施行シタ途端ニ資格ガナク
ナツデハ困リマスカラ、本法施行ノ日カラ六
箇月間ハ大目ニ見ル、六箇月ノ間ニ手續ヲ
サセルノデアリマスガ、其手續ハ今御話ノ
ヤウニ稅ヲ納メタカ、納メナイカト云フコ
トモアリマセウケレドモ、先ヅソレニ拘ラ
ナイデ嚴選主義デ取纏メタイト思ッテ居リ
マス

○小山委員 實ハ板野君ガ斯ウ云フ方面ニ
付テ、大變御心配ノヤウデアリマシタガ、
私ハ御承知ノ通り田舎生レデアリマシテ、
田舎ノ者ハドウ云フコトデ引掛ルカ、田舎
ノ資産家ハドウ云フコトデ資産ヲ無クスル
カト云フコトヲ能ク承知シテ居リマス、御
承知ノ通り戰時前カラ日本ノ財政經濟ノ方
針ガ田舎ノ方ニ響イテ、田舎ノ資産家ニ影響

ヲ及ボスコトガ多イ、資産ニ影響ヲ及ボセ
バ隨テ茲ニ投機心ガ起ル、其投機心ノ起ル
コトニ乗ジテ、ドウ云フ者ガ一番害毒ヲ流
スカト云フト、取引所法ニ依ル現物取引員
デハナクシテ、寧ロ地方ニ散在シテ居ル者
ガ多イノデアリマス、是ハ現物ノ賣買ラス
ルト云フヨリハ、差金賣買ヲスルト云フコ
トヲ實ハ本位トシテ居ルノデアリマシテ、
斯ウ云フ者ハ寧ロ違法ノ行爲ヲシテ居ルノ
デアルカラ、此嚴選ト云フコトヲ信用ノア
ル者ヲ嚴選スルト云フ意味デナクシテ、サ
ウ云フ者ハ投機ノ抑制、地方ノ資産家ニ非
常ニ迷惑ヲ掛ケルト云フヤウナ意味カラ、
寧ロ嚴選ト共ニ嚴罰ヲシテ、サウ云フ者ハ
存在シナイヤウニシ、サウ云フ違法者ヲ此
社會カラ取除クト云フ意味合ヲ以テ一ツ嚴
選主義ヲ行ッテ戴キタイト云フ希望ヲ私ハ
持ッテ居ル

ソレカラ第二點ニ付テ、板野君モ御質問
ノアリマシタコトデスカ、實ハ差金ヲ以テ
賣買取引ヲ決濟シテ居ルカドウカト云フコ
トハ、一體何ヲ標準トシテ發見スルカ、幾
回モ幾回モ現物取引ヲシナイデ、差金ダケデ
終ツタカト云フコトヲ何デ判斷スルカト云
フコトハ、私ハ實ハ餘程困難ナ問題ダと思
フノデアリマス、ナゼカト申シマス、商

工省ノ其方面ノ方々ハ御承知デアリマセウ
ガ、見セ株ト云フモノヲ持ッテ居ル、目的ハ
差金賣買ヲスルコトデハアルケレドモ、見
セ株ヲ持ッテヤハリ現物ヲ渡シタ形ニシテ、
現物ヲ引渡シタ、或ハ受取ッタ、ソレヲ帳面
ニモ付ケル、計算モスル、斯ウナツテ居ルノ
デス、果シテ是ガ差金賣買デアルカ、實物取
引デアルカト云フコトノ判斷ガ非常ニ難カ
シイ、商工省ニ於キマシテハ斯様ナ御監督

ハ、餘リ細カイコトデアリマスカラ徹底シ
ナイヤウデアリマシテ、ソレハ大抵警察官
ノ手ニ委サレテ居ル、賭博ト云フコトデ發
見スル、所ガ警察ニ引張ラレテモ賭博ヲシ
タトハ言ヒマセス、結局證據ガ舉ガラナ
イ、帳面ニハチャント見セ株ヲ持ッテ居テ、
其株ハ幾回モ使ハレテ居ルノデアリマ
ス、サウ云フ場合ガ非常ニ多イノデアリマ
ス、デアリマスカラ二三回、或ハ數回ニ互ッ
テ差金賣買ヲシタ場合ニハ、之ヲ取締ルト
カ、營業ヲ取消ストカ云フコトハ、事實ニ
於テハ行ハレナイデハナイカ、デアルカラ
寧ロ先程大臣ノ御話ノ通り、數回ニ互ッタナ
ラバ、ソレヲ取締ルト云フ風ナ御方針ノ意
味デ、先ヅ業務ニ關シテ差金ノ受授ヲ以テ
賣買取引ノ決濟ヲシタ場合ニハ、是ハ總テ
罰スルト云フコトノ御方針ヲ立デテ――

同ヤ二回デ以テ之ヲ罰スル譯デハアリマセ
スガ、サウ云フ立前ヲシテ置カレタ方が、
實際ノ取締上實效ガアリハシナイカ、斯様
ニ考ヘルノデアリマスガ、其點ニ付テ大臣
ノ御意見ヲ伺ヘレバ結構デアリマス

○吉野國務大臣 御尤ナ御尋デアリマスガ、
併シ御示シノヤウナ場合デアレバ、ヤハリ
株ヲ見セタノデスカラ、差金ノ受授ヲヤツタ
ト云ウテモソレガ分ラナイ場合ガアル、ダ
カラ其目的ヲ書クカ、書カヌカト云フコト
ハ、先刻板野サンニ申上ゲタ所デ盡キテ居
ルト思ヒマス、併シ大變適切ナ好イ御尋デ
アリマスガ、一步進ンデ見セ株ヲヤルト云
フヤウナ場合ニハ、何ト書イテモ逃レル譯
デアリマスカラ、實ハ其點ニ付キマシテハ、商
工省ニ於キマシテモ從來取引所ノ取引ニ付キ
マシテハ、相當苦イ經驗ヲ嘗メテ居リマスガ、
ナカ／＼其證據ガ舉ガリマセス、ソレデモ
十分ナコトハ出來マセヌケレドモ、實ハ此法
案ニ付キマシテ御覽ニナリマス通り二十條、十
一條ト云フヤウナ規定其他ヲ置キマシテ帳
簿ヲ備ヘサセル、ソレカラ業務報告書ト云フ
モノヲ分リ易ク、監督上便利ナヤウニ一定ノ
雛形ヲ作ラシテ、ソレ／＼書カシテ置クト
云フコトノ外ニ、今回ハ特ニ地方廳ニ此有
價證券業者ヲ取締ル爲ニ、特別ナ人ヲ置ク

積リデス、此人ハ其専門ノ人デアリマスカラ警察官ノヤウニ——ト申シテハ甚ダ言過ギデゴザイマスガ、片手間デナク専門ニヤル、斯ウ云フ方針ヲ執リマスカラ、從來ヨリハ今申サレマシタヤウナ弊害ニ付テノ取締ハ、モット宜ク行クノデハナイカト考ヘテ居リマス

○小山委員 モウ一點一寸重要ナ問題デスカラ御伺致シマス、先程板野サンカラモ御質問ガアリマシタヤウニ、取引所法ニ依ル實物取引ト、他ノ現物取引トノ區別ハナカナカ難カシイト思ヒマス、併シ御方針デハ成ベク保證金トカ、其他ノ信用程度ヲ高ク御覽ニナルト云フコトデアリマスカラ、其點ハ了承致シマス、實ハ斯ウ云フコトモ考ヘテ見タノデアリマス、寧ろ是ハ取引所ノ在ル場所ニ於テハ、取引員ニ加ヘルヤウナ方針ニ進ンデ見タラドウガラウカ、ソレニ付テハ資力ノ少イ者ハ、組合ヲ作ッテ、取引員トスル方法ハナカラウカ、斯ウ云フコトモ考ヘテ見タノデアリマス、詰リ多數ノ力ヲ藉リテ組合ニシヨウト云フノデスガ、實情ヲ見マストドウモ組合ヲ作ルコトハ更ニ危険デス、仲間デ以テ彼等ハ賭博ラスル、其賭博ノ中ニ入ルト云フコトハ、更ニ恐ロシイ結果ヲ來サウト思ヒマスカラ、私ハ良イ

考ダト思ッテ考ヘタノデアリマスガ、ソレハ寧ろ弊害ガアルト考ヘマシタカラ、將來ハ場外ニ斯様ナ取引員ノ組合ト云フモノハ、絕對ニ御許ニナラヌ方ガ宜イデハナイカ、御許ニナルトヤハリ取引所同様ノ賭博ラスル場所ガ澤山出來ル結果ニナリマスカラ、サウ云フ組合ハ絕對ニ御許ニナラヌト云フ御方針ノ方ガ、私ハ宜イト考ヘルノデアリマスガ、政府當局ハドウ云フ風ニ御考ニナリマスカ、寧ろ組合ヲ作ラサナイト云フトノ御言明ヲ願ヘレバ、大變結構ト思ヒマス、如何デアリマスカ

○吉野國務大臣 或ハサウ云フ方法モ適切ナル方法デハナイカト存ジテ居リマス、唯法律ノ立前ハサウ云フコトヲヤツタ者ハ、皆罰則ヲ受ケルコトニナルノデスカラ、組合ヲ作ラセナイト云フコトハ、彼等ガ本法ノ違反ヲヤル虞ガアルカラト云フ意味デ、今此際茲デ絕對ニヤラス方針ダト云フコトヲ申上ゲルノモドウカト思ヒマス、併シ其點ハモウ理窟ト實情カラ言ヘバ、ドウセサウ云フ連中ガ多ク一ツノ所ニ集リマスレバ、自然サウ云フヤウナ差金賣買ノ弊ニ流レルト云フコトハ、私モ承知シテ居リマスカラ能ク一ツ研究シテ見タイト思ヒマス

○小山委員 了承致シマシタ、本日ハ是デ

終リマシテ、アトハ留保シテ又他日ニ譲リマス

○高橋委員長代理 小林君

○小林委員 私ノ質問ハ先程板野君カラ大體申述べラレタト略、同様ノコトデアルノデアリマス、今小山君カラ言ハレマシタ最後ノ、場外ニ組合ヲ設ケサスコトハ取締ラナケレバナラヌト云フ御話デアリマスガ是ハ實際ノ上カラ言ッテモ、サウ云フ組合ヲ拵ヘルト云フコトガ、場外取引ヲスル集團ニナリ易イ、今マデ取引所ノ改革トカ何トカ云フコトガ度々行ハレマシタガ、是ハ結局場外取引ヲ如何ニ取締ッテ行クカト云フコトガ、根本ノ問題デアルノデアリマス、是ハナカノ容易ニ、行ハレルコトデハナイノデ、紐育ノ「カールマーケット」ノヤウナ、歴史ヲ持ッタ所ハ別段デアリマスケレドモ、何レニシテモサウ云フヤウナ團體ヲ場外ニ認ムルト云フコトハ、差金取引ヲ旺盛ナラシムル原因ニナルノデアリマス、此點ハ小山君ノ言ハレタヤウニ、場外取引ヲ禁止スルト云フ立場カラ、斯ウ云フ組合ヲ御認メニナラナイヤウニ、寧ろ之ヲ拵ヘナイヤウニナサルコトガ必要デアラウト思フノデアリマス、ソレカラ今日ノ有價證券ノ取扱業者ノ選定デアリマスルガ、是モ私ハ嚴選主義

デ行カナケレバナラヌト云フ意見デアリマス、併シ是ハドウモ當局ノ御話ニナッテ居ルヤウナ五千圓程度ノ保證金デハ、連モ顧客ハ安心シテ投資スルコトガ出來ナイ、斯ウ云フ懸念ヲ持ッテ居リマス、現在ノ取引所ノ取引員ノ認可デスラ商工省ニ於テハ、嚴重ニ信用ト資産ヲ調査ヲサレタ上デナケレバ認可ニナラナイ、サウ云フヤウナル事柄カラ考ヘテ參リマシテモ、取引所ノ取引員ト云フモノハ、資産若クハ、信用ノ嚴格ナル調査ノ結果、認可サレタ、取引所ノ取引員ガ本當ニ取引ヲシテ、顧客ニ安心ヲ與ヘテヤルト云フ立派ナ取引員モアリマスケレドモ、中ニハ唯呑ミ行爲専門ノ取引員モ可ナリアル、斯ウ云フヤウナ呑ミ行爲ノミヲヤツテ居ル取引員ガ、一朝相場ノ變動ニ依ッテハ、或ハ思惑違ヒニ依ッテ破綻ヲ生ズルト云フヤウナ場合ニ遭遇シタラ、顧客ハ非常ニ迷惑ラスルト云フコトハ勿論デアリマス、故ニ取引所ニ於ケル完全賠償ト云フモノハ、實際ニ於テハ其取引員ノ處分シタ後デナケレバ出來ナイ、取引員ニ於テスラサウデアリマスカラ、サウ云フヤウナ取引員ノ完全賠償ノ制度ヲ持タナイ斯ウ云フ現物商ニ於テハ、一層取締ヲ嚴重ニシテ嚴選主義ニ依ル所ノ現物屋デナケレバ、本當ノ

投資ト云フモノハ安心シテ出來ルモノデハナイ、殊ニ軍需工業ガ發達シ、サウシテ經濟機構ガ非常ニ複雑ニナルト共ニ擴大サレテ來タ今日ニ於テハ、社會ニ流通スル有價證券ノ數ト云フモノハ非常ニ澤山アル、是ハ取引所ニ上場サレル所ノ株ト云フモノハ少クテ、ソレ以外ノ色々ノ有價證券ト云フモノガ賣買サレルノデアリマスカラ、ソレヲ取扱フノガ現物商ナノデアリマス、ドウシテモ其點ニ於テ十分ナル監督ヲシテ戴カナケレバナラスシ、同時ニ動モスルト先程ノヤウナ差金取引ト云フコトガ盛ニ行ハレテ來テ、サウシテ賭博ニ等シイヤウナ清算類似ノ取引ヲヤッテ行クノガ、殆ド彼等ノ常套手段ナノデアリマス、甚シキニ至ッテハ取込詐欺ヲヤッテ、田舎ノ人ヲ胡麻化スヤウナ色々ナ「インチキ」ナ廣告ヲシテ引ッ掛ケル、此間モ御承知ノヤウニ新聞デ見ルト、大阪デ何カ十萬トカ二十萬トカ云フ取込詐欺ヲシタコトガ暴露サレタノデアリマス、斯ウ云フ事柄モ嚴重ナル取締ヲシテ行カスト、非常ナ間違ッタクコトニナルト思フノデアリマス、ノミナラズ一度商工省ノ認可ヲ得テ、現物業者デアルト云フ金看板ヲ貫ッタラ、ソレハ大手ヲ振ッテヤルコトガ出來ル、今マデハ立派ナ現物業者ニ比較シテ、小サイ現物業者ハ、

多少遠慮シテ居ッタク者デモ、商工大臣ノ認可ヲ得タ現物商トナッタト云フコトニ依ッテ、大手ヲ振ッテ色々ノコトガ出來得ルヤウニナルノデアリマスカラ、悪い人間ハ却テ今マデヨリモヨリ以上悪いコトヲシ易クナル傾向ガアリハシナイカ、斯ウ云フコトノナイヤウニシテ行クニハ、資産ノアル者デ信用ガナイ者モアリマス、又信用ガアッテ資産ノナイモノモアリマス、デスカラソコハ資産ト信用ト二ツナガラ兼備シタク者ヲ嚴選シテ、五千圓トカ一万圓トカ云フ程度デナシニ——今日ニ於ケル有價證券ノ取扱高ト云フモノハ、非常ニ莫大ナル金額ニ上ルノデアリマスカラ、殊ニ田舎ノ人ナドハ商工大臣認可ノ現物商ト云フコトヲ書ケバ、キツトソレヲ信用シテ相當金ヲ投ズルト云フコトニナリ、ソレガ間違ッタク時ニハ非常ニ迷惑ヲ掛ケル、證券流通ノ立場カラ言ッテ、非常ニ間違ッタク氣ノ毒ナコトニナリマスカラ、私ハ此點ニ於テ保證金ト云フモノノ金額ヲ、ウント上ゲテ戴カナケレバ、結局「グレシヤム」ノ法則ガ行ハレテ、悪い現物屋ガ商工大臣認可ト云フ看板ノ下ニ、立派ナ現物屋ヲ驅逐シテ、サウシテ信用ト云フモノノ本當ノ點ヲ胡麻化シテ行クト云フコトニナリヤシナイカト云フ疑ヲ持ツノデアリマス、其

點ニ於テマダ御決メニナッテ居ラナイノデアリマセウガ、其保證金ト云フモノヲウント引上ゲテ戴イテ、サウ云フ懸念ノナイヤウニ御願シタイト思フノデアリマス、ソレカラ其結果ト致シマシテ、澤山ノ現物商ガドノ程度ニ淘汰サレルカト云フコトハ、今ノ大臣ノ御話ニ依リマスルト、或ル程度ノ犠牲ハアルダラウト云フコトデアリマスカ、私ハ是ハ或ル程度ドコロデハナイ、相當多數ノ犠牲ヲ出サナケレバ、本當ノ證券流通ノ堅實化ヲ圖ルコトハ出來ナイト思ヒマス、ソレガ爲ニハ、是ハドウ云フヤウナ御方針デ御認可ニナルノカ知リマセウガ、信用調査、今マデノ業績ナンカラ調ベテ御許ニナルコトと思フノデアリマスガ、地方ノ警察署ナドヲ使ッテ、今マデノヤリ方、營業ノ方針、業績、信用、資産及ビ店員ニドウ云フ者ガ居ルカト云フヤウナコトヲ詳細ニ調べタ上デ御許ニナラスト、折角ノ此免許制度ト云フモノガ、却ッテ弊害ヲ惹起スト云フ結果ニナリハシナイカト云フコトヲ惧レルノデアリマス、本當ノ證券流通ト云フモノハ、今日ニ於ケル一ツノ金融上ノ大動脈トモ認ムベキモノデアリマスカラシテ、此點ニ於テ當局ノ御一考ヲ更ニ煩ハシタイト思フノデアリマス、ノミナラ

ズ北濱トカ、東京トカ云フヤウナ方面ニ於キマシテハ、現物商ト云フ者ハ普通ノ取引所ノ取引員ト軒ヲ竝ベテヤッテ居ルノデアリマス、地方ノ人ハソレニモ信用シキッテ掛ルノデアリマスカラ、此點ハ十分ナル方針ノ下ニ御許ヲ願ヒタイト思ヒマス、之ニ對シテ當局ノ方デハ認可ヲサレテ行ク場合ニ於キマシテハ、寧ロ地方ノ官廳ニ委シテヤッテ行ク方ガ宜イノデハナイカト、私ハ思フノデアリマスガ、ドウ云フヤウニ考ヘラレルノデアリマスカ

○吉野國務大臣 御尤ナ御尋デアリマシテ、御所見ト私モ同感デゴザイマスカラ、出來ルダケ御所見ニ副フヤウニヤリタイト思ッテ居リマス、唯認可ヲヤルコトニ付キマシテモ、地方廳ノ警察等ニ依リマシテ、個々ノ業者ニ就テ十分從來ノヤリ方ニ付テ調査致シタイト思ヒマス、併シヤハリ全國的ニ一ツノ目安デアアルコトガ、適當ダト思ヒマスカラ、之ヲバラ／＼ニ地方廳ニ委任シタノデハ、自ラ其間ニ寬嚴公平ヲ失スルト云フ點モゴザイマスカラ、御話ノ通り地方ニ於ケル從來ノヤリ方ト云フモノハ、地方ノ警察等ニ依ッテ十分調査致シマシタ上デアリマスガ、ヤハリ決定ハ全國的ニ一定ノ標準ノ下ニ商工省ノ方デヤッテ参リタイ、斯

ウ考ヘテ居リマス

○小林委員 洵ニ結構デゴザイマスガ、其

保證金ガ幾ラニナリマスカ、ソレハ分ラヌ

デセウガ、出來ルダケ多クシテ戴カナケレ

バナラスト云フコトハ申上ゲマシタ通りデ

アリマスシ、當局モ其考デアラウト思ヒマス

ガ、ソレニ關聯シテ、幾ラ金ヲ持ッテ來タカラ

ト言ッテ、ソレデ私ハ安心ハナラスト思ヒマ

ス、ト云フノハ普通ノ商賣人デモサウデアリ

マスケレドモ、現物商ト云フヤウナ方面デ

ハ、五千ヤ一万ノ金ヲ融通スルノハ誰デモ

ヤルコトデアリマスカラ、金サヘアレバ、ソ

レデ安心ノ置ケル、資産ノアル、信用ノア

ル現物商デアルトハ斷定出來ナイ、ソレデ

アリマスカラ、形式ニ流レテハイカヌ、資

格ト云フモノハ斯ウ云フ資格ニシナケレバ

ナラスト資格ヲ形式的ニサヘ整ヘタナラバ

認可シテモ宜イノダ、斯ウ云フコトデハ弊

害ガ生ズルト思ヒマス、其點ハ形式ニ流レ

ナイヤウニシ、唯認可サヘスレバ宜イノダ、

免許サヘスレバ宜イノダト云フコトデナク、

本當ニ信用ノアルモノデナケレバイケナイ

ノダト云フ方針デ、一ツ御取扱ヲ願ヒタイ

ト思ヒマス、私ノ有價證券ニ關スル大體ノ

質問ト希望ハ其程度デアリマス

次ニ商業組合ノ點ニ付テ大臣ノ御所見ヲ伺

ヒタイト思ヒマス、商業組合ガ第三條ノ事業

ヲ十分ニ行フト云フ結果、資金ノ貸付、債務ノ

保證又ハ組合員ノ貯金ノ受入ヲスルコトニ

ナッテ、更ニ商工中央金庫カラ融資ヲ受ケル、

サウシテ金融的ノ援助ヲ得タ結果、商業組

合ト云フモノガ市街地ノ信用組合的ノ傾向

トナッテ、遂ニ事業上信用組合ト對立スルト

云フヤウナ結果ニナルノデハナイカ知ラン

ト云フ疑ヲ私ハ持ッテ居ルノデアリマス、此

點ニ對スル當局ノ御意見ハ如何デアリマス

カ

○吉野國務大臣 現在ノ所デハ市街地ノ信

用組合ハ、小賣商ノ外ニ少額ノ俸給取ト云

フヤウナ人モ入ッテ居リマスカラ、サウ云フ

御心配ハ比較的少イノデハナイカト——是

ハ實情デアリマスガ——思ッテ居リマス、ケ

レドモヤハリ將來ノ問題トシテハ、商業組

合トノ關係ニ於キマシテ、市街地信用組合

ニ付テモ考ヘナケレバナラスト思ッテ居リ

マス

○小林委員 産業組合ガ農村ノ振興ノ爲ニ

非常ニ努力ヲサレル、是ハ當然ノ任務デア

リマスカラ當リ前デアリマスガ、農村ニ於

ケル産業組合ノ活動ト云フモノガ、本然ノ

任務ヲ逸脱スル、サウシテ勢ニ乗ジテ他ノ

方面、他ノ領域ニ侵入シテ來ル結果トシテ、

農村自體ニ於ケル小賣商人ヲ苦シメルト云

フヤウナ場合ガ往々ニシテアル、ノミナラ

ズ更ニ製造工業者ヲ苦シメテ行ク、ソレガ

爲ニ産業組合自體ノ本性性ニ還ラシメナケ

レバナラスト云フ修正運動ガ起ッテ、是ガ都

會ニ於テハ反產運動トナリ、商權擁護運動

トナルノデアリマスガ、サウ云フヤウナ現

狀ニ鑑ミマス、此商業組合中央會モ亦商

業者或ハ工業者ノ間ニ軋轢ヲ誘致スルト云

フ虞ハナイデアラウカ、若シモサウ云フヤ

ウナ狀態ニナッテ、一般ノ商工業者ノ商業組

合ニ對スル所ノ反抗、或ハ他ノ組合ト商業

組合トノ對抗運動ト云フヤウナコトニナッ

テ來タナラバ、産業組合ノ場合ニ於ケルト

同ジ弊害ガソコニ生ジテ來ル虞ガアル、此

點ニ對シテ私共ハサウ云フ心配ヲ持ツノデ

アリマスガ、大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイ

○吉野國務大臣 事實問題トシテ幸ニ今迄

ハサウ云フコトハナイノデアリマスガ、今

度此法案ノ改正ニ依リマシテ、中央會ガ法

制上認メラレマスカラ、商業組合中央會、ソ

レカラ既ニ法制上認メラレテ居リマス工業

組合ノ方ノ中央會、貿易組合ノ方ノ中央會、サ

ウ云フモノト極ク緊密ナ連絡ヲ執ルコトニ

努メテ居リマスガ、今後其方針ヲ續ケテ、

サウ云フコトガナイヤウニ致シテ行キタイ

ト思ッテ居リマス

○小林委員 是ハ農林大臣ガ御見エニナッ

テ居レバ伺ッテ見タイト思フノデアリマス

ガ、産業組合ガ農村振興ノ爲ニ働イテ行カ

ナケレバナラスト機關デアルト云フコトハ當

然デアアルノニ、現在農村ノ振興ヲ叫バナケ

レバナラスト、或ハ農村ノ救済ヲ叫バナケレ

バナラスト云フコトハ、一ツハ産業組合共

モノノ活動ガ十分デナイ、産業組合ノ無能

ヲ暴露シタモノデアルト私ハ解釋スルコト

モ出來ルノデハナイカト思フノデアリマス、

ソコデ産業組合ガサウ云フヤウナ使命ヲ果

スコトヲセズ、他ノ方面ノ領域ニ逸脱シテ

行クト云フコトノ爲ニ、其任務ヲ果シテ居

ラナイノダト言フコトガ出來ルト思フノデ

アリマスガ、ソレト同ジ意味ニ於テ、商業

組合ガ先程言ッタヤウナ事ノナイヤウニ御

願ヲシテ置キタイト思ヒマス、ソレカラ現

在ノ我國ノ組合制度ト云フモノハ非常ニ複

雜過ギテ、寧ロ亂雜デアアル、斯ウ私共ハ思

フノデアリマスガ、是ガ爲ニ錯綜セル關係

ヲ招來シテ、利害ノ異ッタ所ノ者ガ互ニ對

立ラスル、互ニ割據シテ、サウシテ反抗シ

合フ、自分ノ勢力保全ノ爲ノ運動トナル傾

向ガ今日殊ニ甚シヤウニ思フノデアリマ

ス、例ヘバ今日ノ産業組合ニ對シテ、同業

組合が色々反對運動ヲヤッテ居ルト云フコトモ其現レデアルト思フノデアリマス、斯ウ云フヤウな場合デアリマスカラ、宜シク農林當局トモ一ツ御一緒ニナッテ、商工全般ニ互ッテノ組合組織ヲ、系統的ニ一貫シタ組織ニ立直スト云フコトノ必要ガアルト思フノデアリマス、サウシテソレニ依ッテ産業ノ發達助長ヲ圖ッテ行クト云フコトガ必要デ、完全ナ統制ヲ其間ニ見出シテ行クトガ宜イノデハナイカト思フノデアリマスガ、之ニ對シテ何等カノ方法ヲ御講ジニナル御考ガアリマスカ

○吉野國務大臣 私モ年來其考デゴザイマシテ、既ニ商工省關係ニ關スル限リハ一ツノ組合法制ニシタイト思ヒマシテ、成案ヲ世間ニ發表シタコトモアルノデアリマス、精々御趣旨ニ副フヤウニ農林當局トモ打合セテ致シマシテ進ミタイト思ヒマス

○小林委員 サウシマストサウ云フ御考ノ下ニ於キマシテ、今日ノ商業組合ト云フモノ、又現在ノ工業組合ノ規定及び其機構ト云フモノモ、其改革ガ出來ル迄ノ暫定的ノモノト承知シテ宜イノデアリマスカ

○吉野國務大臣 私ハサウ考ヘテ居リマス

○小林委員 ソレデハ其改革ノ出來ル迄ノ暫定的ノモノデアリマスル以上ハ、商業組

合同同ジ意味ニ於テ同業組合モ其統制ヲ強化シテ、機能ヲ十分ニ働カシメテ行ク——統制ヲ強化セシムルト云フ意味ニ於テ、法案ヲ改正サレル御考ガゴザイマセウカ

○吉野國務大臣 同業組合ニ付キマシテモ實ハ色々考ヘテ居ルノデアリマス、是モ私ハ率直ニ申上ゲタ方ガ宜イト思ヒマスガ、同業組合ト云フモノモ大變重要ナ施設デハゴザリマスケレドモ、先日モ申上ゲマシタ通り、時代ノ變遷ニ依ッテ、ドウシテモ適當デナイモノガアル、簡單ニ申上ゲマスト、同業組合ノ從來ノ仕事トシテ居リマシタヤウナモノハ、今日デハ同業組合ノ仕事ニ適切デナイ、是ハ違ッテ御意見モアルヤウデゴザイマスケレドモ、私ハヤハリ統制ト云フモノト、經濟上ノ共同施設ト云フモノハ、一

緒ニヤラナケレバイカヌモノデアルト云フノガ、私ノ年來ノ考デアリマス、検査ヲヤルニシテモ、或ハ價格ノ協定ヲヤルニシテモ、抑、根本ニ遡ッテ、サウ云フ不良品ガ出來ナイヤウナ共、同施設ガナケレバナライ、之ヲ出テ來タモノヲ、是ハ惡イカラ不合格品ダト言ッテ判ヲ捺スダケデハイケナイ、斯ウ云フノデ新シイ制度ノ工業組合、商業組合ト云フモノヲ設ケタノデアリマスカラ、稀ニハサウ云フ統制ダケノ仕事モゴザイマ

スケレドモ、仕事ノ分量カラ申シマスト、同業組合ノ統制ノ仕事ノ大部分ガ新シイ組合法ノ上ニ入ッテ來タノデアリマスカラ、殘ッテ同業組合ノ仕事トシテドウ云フモノガアルカト云フ點ガ問題デアリマス、先程モ一寸申上ゲマシタガ、勞働關係ヤ或ハ徒弟ノヤウナモノハ、是ハ同業組合ニ相應ハシイコトデアルト思ヒマスケレドモ、是モ沿革ガゴザイマシテ、先程モ申上ゲマシタ勞働關係ノモノヲ同業組合ガヤッテハイケナイト云フ——是ハ農商務省以來ノ沿革ガゴザイマス、ソレ故ニ左様ナコトヲ考ヘテ見ルト、寧ロ同業組合ハ是ハ商工會議所ト同ジヤウナ系統デ、其業ノ職能代表ト云フ、言葉ハ惡イカモ知レマセスケレドモ、斯ウ云ツヤウナ方面デ寧ロ改善スベキデアル、經濟上ノ施設團體トシテハ寧ロ商業組合、工業組合ガ好イノデハナイカ、斯ウ云フノガ私ノ平素考ヘテ居ル考デアル、サウ云フ意味デアリマスカラ、等シク暫定ト申シマシテモ、商業組合、工業組合ニ對スル態度ト同業組合ニ對スル態度トハ自ラ違フノデアリマス、或ハ時期カラ言ヘバ、同業組合ノ方ガ商工會議所ノ方ヨリ早く改正ノ方ニ手ヲ著ケルト云フコトニナルカモ知レマセ

○小林委員 私共ハ大體斯ウ云フヤウニ解シテ居ルノデアリマス、共同事業即チ出資ニ依ル産業組合的ノ使命ヲ本旨トスル所ノ商業組合ヲ、職能的團體トシテ産業ノ爲ニ何等カノ寄與ヲシヨウ、同業組合ト同一ノ機能ヲ商業組合ニ與ヘヨウト云フコトデ、サウシテ出資、強制加入權附與ノ統制組合タラシメルト云フコトガ、茲ニ何等カノ無理ガアルノデハナイカ、畢竟スルニ、實ハ是ハ露骨ナ言ヒ方デアリ、考ヘ方デアルトハ知リマセスケレドモ、元來同業組合ト云フモノハ農林省ト商工省トノ共管デアル、ソコデ商工省單獨デ色々ノ事ヲヤッテ行クニハ農林省ノ方ノ關係ガ餘リ面倒デアルカラ、單獨デ監督シ得ル商業組合ニ依ッテ統制スルコトヲヤラセテ行ッテ、サウシテ自然ニ同業組合ヲシテ自壞セシメテ行クト云フ風ナ考ガアルノデハナカラウカ、斯ウ云フヤウニ吾々ハ考ヘルノデアリマス、是ハ考ガ間違ッテ居ルカモ知レマセヌガ、兎モ角私共ハサウ考ヘテ居ル、サウデナケレバ商工當局ハ、ナゼ商業組合ト同ジヤウニ同業組合ヲモ強化シテヤルト云フ御考ニハナラナイノカ、デアアルカラ商業組合ヲ育てテ、サウシテ同業組合ヲ潰シテヤルノダ、或ハ自壞セシメテヤルノダト云フヤウナ御考ガ底ニ

流レテ居ルノデハナイカト吾々ハ考ヘルノ
デアリマス、サウデナケレバ同業組合モ生
産統制或ハ配給統制其他ノ綜合的ノ統制組
合タラシメテ、商業組合ト同ジヤウナ意味ニ
於テ、商業組合法ノ改正ガ必要デアルト同
様ノ意味ニ於テ、同業組合ヲモ強化セラレ
ル手段ヲ講ゼラル、ベキモノデハナイカ、
斯ウ考ヘルノデアリマス、之ニ對スル御所
見ヲ伺ヒマス

○吉野國務大臣 立法ノ沿革ハサウ云フ意
味デハゴザイマセス、同業組合ト統制組合
トノ關係ニ付テ少シ變ナコトガアルト云フ
コトハ、私ハ昨日モ申上ゲタノデアリマス、
別ニ御意見ニ對シマシテ、違ッテ考ヘ持ッテ
居ラナイノデアリマスガ、唯立法ノ沿革上
サウ云フ風ニナッテ居ルト云フコトダケ申上
ゲテ置キマス

○小林委員 最後ニモウ一ツ御伺ヲシテ置
キタイノデアリマスガ、ソコデ統制ノミヲ
目的トスル商業組合ヲ一應認メルト致シマ
シテ、是等ノ統制組合法ト云フモノハ、元
來「カルテル」ノ組合法ナノデ、所謂營利ヲ目
的トスル一ツノ組合制度デアアルノデアリマ
スカラ、此中ニ公共的ノ性質ノモノヲ設ケ
ル、即チ公共的ナル統制規定ヲ設ケルト云
フコトガ、既ニソコニ矛盾ガアリ間違ガア

ルノデハナイカト思フノデアリマス、何ト
ナレバ一方ハ營利的ノモノデアリ、一方ハ
公益的ノモノデアアル、此營利的ノモノト公
益的ノモノヲ一ツノ組合ノ中ニ包容シテ行
ク所ニ、無理ガアルノデハナイカト思フノ
デアリマス、此事ハ同時ニ工業組合ト輸出
組合ト謂ヒマスカ、貿易組合ト謂ヒマスカ、
其事ニモ同ジヤウニ言得ルト思フノデアリ
マス、ソコデ私共ハ此「カルテル」ノ組合法

ヲ主體トスル商業組合、工業組合或ハ貿易
組合ト云フ此三ツノ組合ノ中カラ、公益ニ
關スル規定ヲ除イテ、サウシテ其公益ニ關
スル規定ノ分ダケヲ纏メテ一ツノ統制的ノ
組合ヲ設ケテ、其中ニ同業組合ノ精神ヲ取
入レテ行ク、サウシテ一面ニ於テ商業組合、
工業組合、貿易組合ト云フヤウナ組合ヲ統
一シテ、一貫的ニ系統的ノ組織ヲ立テ、行
クト云フコトガ好イノデハナイカト考ヘル
ノデアリマス、サウシテ行クコトニ依ッテ組
合組織ト云フモノヲ整理統合シテ、サウシ
テ組合ノ機能ヲ發揮セシメテ、産業ノ發達
助長ノ爲ニ働カシメルヤウニシテ行クベキ
モノデアルト考ヘルノデアリマスガ、之ニ

對スル大臣ノ御所見ヲ承リタイト思ヒマス
○吉野國務大臣 御意見ノ點ハ能ク又改正
ノ一ツノ資料トシテ考ヘタイト思ヒマス、

唯當局デハ商業組合ト云フモノハ「カルテ
ル」トハ考ヘテ居リマセス、ヤハリ學者ノ
所謂中間法——公益營利ノ中間的ノモノデ
アルト云フヤウニ考ヘテ居リマス、隨テ今
度ノ商業組合法ノ改正モ、單純ナ業者ノ私
經濟的ノモノデナシニ、國家的ニヤルト云
フ、極ク全國的ニ稀ナル場合シカ統制組合
ハヤラナイ方針デアリマス

○高橋委員長代理 手代木君ヨリ、小林君
ノ質疑ニ關聯シテノ御尋ノ御申出ガアリマ
スガ、取扱ノ便宜上先ヅ鈴木君ノ御質疑ヲ
御許シテ、然ル後ニ手代木君ノ御質疑ヲ御
許シ致シマス——鈴木君

○鈴木委員 私人質問ハ極ク簡單デス、ヤ
ハリ同業組合ニ關係ノ御尋デス、第二十七
條ノ二ノ、強制シテ拵ヘサセル所ノ商業組
合、此組合ト商業組合法ノ第一條ニ謂フ商
業組合ト性質ガ同ジモノデアアルカ、或ハ全
然違フノデアアルカ、第一條ニ依リマス「商
業者ハ其ノ商業ノ改良發達ヲ圖ル爲ニ共同
ノ施設ヲ爲ス目的ヲ以テ」ト書イテアル、先
般來ノ大臣ノ御話ニ依リマシテモ、比較的
ニ施設ニ付テ積極的ニ事ヲシテ行クト云フ
意味合ノ組合デアアル、然ルニ統制ヲ目的ト
シテ居ル所ノ商業組合ト云フモノハ、段々
統制ヲ強度ニ之ヲ行フト云フコトニナリマ

スト、最後ハ其仕事ヲシナクナルノデハナ
イカ、例ヘバ今十ダケ原料ヲ持ッテ居ルカ
ラ十ダケニ付テ色々配給ヲ心配スル、併ナ
ガラ色々ナ事情ニ依ッテ原料ノ入り方ガ少
クナッテ、十ガハニナリ、八ガ六ニナリ五
ナル、斯ウ云フ風ニナッテ行ケバ、統制ト云
フモノハ益、強化シテ行カナケレバナラヌ、
オヤリニナル其仕事ソレ自體ハ發達シテ行
クノデハナクシテ、退化シテ行クト云フコ
トニナル、第一條ノ組合ト云フモノハ改良
發達ヲ目的トシテ居ル、斯ウ云フ時ニ統制
ヲ強化シタモノハ逆行シテ行クト云フコト
ニナルカラ、其商業組合ハ全ク同ジモノニ
ナルデハナイカ、其性質ガハッキリシナイ
ノデスカ、其點ヲ御願シタイ

○吉野國務大臣 大變難カシイ御質問デア
リマスガ、私ハヤハリ第一條ノ組合ト云フ
モノニ本質ハ入ルト思ッテ居リマス、詰リ
改良發達ヲ圖ル爲メ共同ノ施設ト云フコト
ハ共同ノ經濟的施設ダケヲ考ヘテ居ルノデ
ヤアリマセス、消極的ノ施設モ共同ノ施設
デアリマスカラ、是ハ疑ガナイ、唯御話ノ
ヤウニ、私共今狙ッテ居ル綿絲ナラ綿絲
ノ配給統制ヲアルコトハ、從來市場ニ澤山
ニアルト云フ場合デヤナイノデアリマシテ、
御話ノ通り供給ガ少イ爲ニ、之ヲ放ッテ置イ

テハ業者ガ血塗ロナ争ヲシテ結局傷イテ、ソレガ斯業ノ改良發達ヲ妨ゲルカラ、サウ云フ消極的ノ意味デ行フト云フダケハ御話ノ通りデアリマスガ、併シ今御話ノヤウニ程度ノ問題デアリマシテ、其事ガ即チ積極的ニ商賣ヲウント擴ゲルト云フ方ニハ役立タヌデヤナイカト云フ御話ナラバ、其通リデアリマス、併シ縮マツテモ今マデ澤山ニ買ヘタ物ガ、供給ガ少クナツタ時ニ、放ッテ置イタ場合ニオ互ニ過當ナル競争ヲシテ、業界ノ秩序ヲ紊ルト云フコトハ是ハ宜シクナイト思ヒマス、サウ云フコトヲ防グコトモ亦第一條ノ所謂商業ノ改良發達ヲ圖ル爲ノ一ツノ施設デアル、斯ウ云フ見解デゴザイマス

○鈴木委員 是ハ私ハ御尋ダケデスカラ意見ハ申上ゲマセス、併シソレガ極度ニ進メバ、結局其仕事ト云フモノハ無クナツデシマウ、段々原料ガ少クナツデ、絶對ニ入ラナイト云フコトニナレバ無クナツデシマウ、ソレガ改良發達ト云フコトハ、私ハドウモワカシイヤウニ考ヘテ居ル、第一條ノ商業組合ニ入ルヤ否ヤ、斯ウ云フ風ニ疑問ニシテ居ル

ソレカラ次ニ第二十七條ノ二ニ「國民經濟ノ健全ナル發達」ト書イデアリマス、國民

經濟ト云フコトハ、ドウ云フコトカ分リマセヌケレドモ、併シ是ハ唯商業ト云フバカリデナク、工業又ハ原始産業、一切經濟ニ關係シテ居ル事柄ヲ包括シテ居ルノデヤナイカト思フノデス、サウシマス、第一條ニ謂フ商業ノ改良發達ト云フ意義ト、國民經濟ノ健全ナル發達ト云フコトハ、大分其間ニ違ヒガアルト思フデアリマス、ソコデ國民經濟ノ健全ナル發達ヲ圖ル上ニ於テハ、却テ先般來言フガ如ク、縱ニ繋ガッタ所ノ一ツノ産業關係ノモノガ集ッテ、サウシテ改良發達ニ資シタ方ガ宜イデヤナイカト云フ氣モスルノデス、デハ例ハドウカト申シマス、水産物ニ關係スル水産組合、或ハ水産會ト云フモノガアリマスガ、水産會ナリ水産組合ト云フモノハ、實ニ販賣業者バカリデサウ云ツタ組合ヤ會ヲ作ッテ居ルノデヤナイ、水産業ニ關係アル者ハ皆入ッテ居ルノデアリマス、ソコデ水産組合ノ方ニ付テ見マシマス、鐵力ノ配給ニ付テ考ヘテ見マシマス、製罐業者カラ配給ヲ受ケルトカ、或ハ製罐業者ニ向ッテ注文ヲスルト云フヤウナ時分ニハ、水産組合ヲ利用スルコトガ宜イト思ッテ居ル、又漁業者ガ石油ナリ重油ナリヲ使用スル場合ニ、適度ニ統制シテ行クト云フ場合ニ於テハ、水産會等ヲ利

用シタ方ガ宜イト思フノデス、又サウ云フモノヲ利用セズシテ、特ニ其關係者バカリノ組合ヲ作ラシムルト云フヤウナ考モノイト思フノデス、水産物ニ付テハ、製造業者モ、販賣業者モ、其他關係業者モ入ッテ居ル組合ナリ會ナリガ働イタ方ガ、實際ノ目的ヲ達スル上ニ於テハ便宜ダト、斯ウ思フノデス、ソレデスカラ、水産物ニ限ッテハ、サウ云フ性質ノ組合ナリ會ナドガ宜クテ、他ノ物ニ對シテハ惡イト云フヤウナコトニモ考ヘラレナイノデス、ソレデスカラドウ云フモノデセウカ、國民經濟ノ健全ナル發達ト云フヤウナコトヲ御考ニナル時ニハ、特ニ一部門タル所ノ商業ノミヲ目的トシテ居ル組合ナドヲ拵ヘルト云フコトヨリモ、從來カラアル所ノ同業組合、其方ノ利用ノ方ガ寧ロ宜イノデヤナイカト云フ氣モ致シマスガ、度々質問ガ出テ居ル事柄デスガ、モウ一遍御意見ヲ伺ヒマス

○吉野國務大臣 私モソレデ宜イト思ヒマス、ソレデスカラ今度ノ昭和十二年法律第九十二號ノ改正法律案ニハ、サウ云フ立前ニナツテ居リマス、唯此場合ハ、商業ノ改良發達ヲ圖ル商業組合ト云フ實體其モノヲ強制設立スル場合ノ條件デアリマス、ソレハアラウト思ヒマスガ、是ハ商業組合ダケノ

問題デアリマス、商業組合ダケノ問題デモ、其當該商業ノ統制ダケデナシニ、ソレニ加フルニ、國民經濟ノ全局カラ見テヤッタ方ガ宜イト云フ一ツノ條件ガ加ッテ、ソレデ商業ノ改良發達ヲ圖ル爲ノ商業組合ヲ作ルト云フ強制的施設ヲ命ズル其條件ノ規定デアリマス、今御話ノヤウナ寧ロ昭和十二年法律第九十二號ノ改正法律ノ所謂需給調整ノ場合ハ、業界ガ縱ニ繋ガツテ、水産會ノ代表者モ入リマセウシ、同業組合ノ代表者モ入リマセウシ、商業組合ノ代表者モ入リマセウシ、或ハ輸入商モ入リマセウ、斯ウ云フ趣旨デアリマス、精神ニ於テハ全然同感デアリマス、唯法律ノ解釋ハ違フデアリマス

○鈴木委員 サウシマス、水産物ナドニ付テハ、勿論從來アル機關ノ利用ト云フコトニ重キヲ置カレルトハ、ハッキリ致シマシタ、ソレカラ又其他ノ同業組合ニ付テモ、却テソレヲ利用スル方ガ都合ガ好イト思ハレルヤウナ場合ニハ、ソレヲ御利用ニナツテサウシテ此仕事ヲサセル、然ラザル限りニ於テ、全然白紙デ何ニモナイ時デ必要アル時ニ、特ニ商業組合ヲ拵ヘサセル、斯ウ云フヤウナ御扱ヒニナルデアリマスガ

○吉野國務大臣 其通りデアリマス、現ニ

棉花ニ付テ言ヘバ、棉花同業組合ト云フノ
ガ「メンバー」トシテ入ッテ居リマス、是ハ商
業組合ダケニ付テノ強制設立ノ規定デアリ
マス、左様御承知ヲ願ヒマス

○鈴木委員 私ハ是デ宜シウゴザイマス

○高橋委員長代理 他ノ政府委員ヘノ質疑

ハ保留ニナリマスカ

○鈴木委員 一ツアリマスガ、ソレハ後ニ
致シマス

○高橋委員長代理 次ニ手代木君ノ關聯質
問ヲ許シマス——手代木君

○手代木委員 私ハ有價證券取締法ニ付
テ唯一ツダケ御尋シテ見タイノデアリマス、
私自分ノ考ヲ述ベマシテ、ソレニ付テ御意
見ヲ伺フノデアリマスガ、私ノ意見ヲ述ベ
ルコトガ少シ長クナルカモ知レマセヌガ、
其點ハ豫メ委員方ノ御諒承ヲ願ヒタイと思
ヒマス……

○星島委員 手代木サン、私ハ今鈴木サン
ノ質問ニ牽聯シテ、速記ノ前後ヲ纏メタイ
ト思ヒマスガ、宜シウゴザイマスカ

○手代木委員 委員長ノ御計ヒデ……

○高橋委員長代理 ソレデハ星島君ノ質疑
ヲ許シマス

○星島委員 私ハ今回ノ商業組合法ノ改正
案ハ大體ニ於テ宜イト思フ、其中ニ殊ニ第

二十七條ヲ今後活カシテ戴クコトニ於テ非
常ニ私ハ宜イト云フ前提ノ下ニ御伺シタイ
ノデアリマスガ、ソレハ先程鈴木サンノ御
尋ノ如ク、當該商業ノ統制ト國民經濟ノ
健全ナル發達ト云フ兩方面カラ見テ、政
府ガ現在行ハレテ居ル同業組合デ、假ニ或
ル府縣デ非常ニ好イ成績ヲ擧ゲテ居ル、之
ヲ全國的ニヤラスコトニ依ッテ、非常ニ宜ク
ハナイカト云フ場合ニ、積極的ニ此法案ノ
發動サレルヤウナコトニ願ヒタイと思フ、

此原案作成ノ精神ガソコマデ行ッテ居ラヌ
カモ知レヌガ、私ハ他ノ委員會ニ出マシテ聽
イテ居リマセヌカラ、ソコマデ持ッテ行キタ
イト云フ私ノ希望ヲ一ツノ實例ヲ以テ申上
ゲマス、學生ガ最近非常ニ服地ガ高イノ
デ、之ヲ「カラー」ヤ「ワイシャツ」ノヤウニ
統一シトラ宜イデヤナイカト云フコトヲ鳩
山文部大臣ノ時分ニ非常ニ主張シタノデス
ガ、ドウシテモ出來ナイ、偶々大阪府ニ於テ
洋服關係ノ者ニ非常ニ良イ人ヲ得タ爲ニ、

大阪府内ニ於キマシテ統制組合ト云フモノガ
行ハレテ、最近非常ニ好イ成績ヲ擧ゲテ居
ル、所ガ其成績カラ見ルト、之ヲ他府縣ニ及
ボセバ、殊ニ全國的ニ及ボセバ非常ニソレ
ガ指導的ニナッテ來テ良イ結果ヲ喚ビ起ス
ト思フノデアリマスガ、サウ云フヤウナコ

トヲモ政府ハ此第二十七條ノ二ノ條項ヲ發
動サレマシテ、一府縣デ非常ニ成功シテ居
ル、其統制ヲ、大イニ國民經濟ノ發達ヲ喚
起ス爲ニ、他府縣ニモ進ンデ、ヤラセヨウ
トノ指導的ノ御考ノ下ニ之ヲ御用ヒニナル
ヤウナ御考デセウカ

○吉野國務大臣 其通りデゴザイマス、殊
ニ今御例示ニナッタヤウナ場合ハ羊毛關係
デゴザイマシテ、是ハ内地ノ需要ハ多ク物
ガ少イノデアリマスカラ、サウ云フ統制モ
必要デアリマス、或ル一縣デヤッタコトガ、
全國的ニヤッタ方ガ我國經濟ノ發達ノ爲ニ
宜シイト云フ場合ニハ、正ニ此條項ノ規定
ガ當嵌ルノデアリマス

○星島委員 其御答辯ハ非常ニ私ハ満足ス
ルノデアリマス、尙ホソレニ付キマシテハ
本法ヲ運用スルニ當ッテ、少クトモ各府縣ノ
商業組合ヲ十分ニ監督スル當該官吏ガ必要
ト思ヒマスガ、今ドウ云フコトニナッテ居リ
マスカ、最近デハ或ハ商工省カラ出張シタ
官吏ガ行ッテ居ラレマスカ、各府縣ノ商工課
ノ人ヲ集メテ之ヲ講習セシメテ、指導ナリ
連絡ナリヲ爲サシメテ居ルノカ、或ハ此法
律ノ施行ノ結果、改メテ指導的ナ専門ノ役
人ガ各府縣ニ配置サレルノデアリマスカ、
其點ヲ伺ッテ置キマス

○吉野國務大臣 其通りデアリマス、從來
モ少シハ行ッテ居リマシタガ、今度ハ追加豫
算デ更ニ地方廳ニ配置スルノデアリマス

○星島委員 私ハモウ一點伺ヒマスガ、私
ハ自分ノ郷里ノ或ル同業組合ニ關係致シテ
居ルノデアリマスガ、最近同業組合ガ出來
マシテ以來、生産者ト營業者ガ一緒ニナッテ
居ル關係上、營業者ノ方ハ商業組合ニ轉向
セシメ、生産者ノ方ハ産業組合ニ轉向セシ
メレバ、大變總テノ仕事ガ好ク行クヤウニ
思フノデアリマスガ、ソレヲ積極的ニ勸メ
テヤラスコトガ御方針ト合致スルノデセウ
カ、或ハ今後サウ云フ事ヲ勸メテマデト云
フコトハ兎モ角トシテ、之ヲ御承認ニナル
ノデセウカ

○吉野國務大臣 現在ノ法制デハ違ッタ業
者ハ一緒ニナレナイノデアリマス、同業組
合デハナレルノデアリマスケレドモ、商業組
合工業組合デハ、商業者ト工業者ト一緒ニ
ナレナイ法制デアリマスカラ、新シイ衣ヲ
著ヨウトスレバ、分立シナケレバйкаスト
思ヒマス、而シテ其事ノ是非ノ論ハ、是ハ
少シ面倒ナ問題デゴザイマシテ、立法ノ沿
革モゴザイマスカラ、何レ又他ノ機會ニ於
テ御話ヲ申上ゲタイト思ヒマス

○星島委員 分リマシタ

○手代木委員 此有價證券取締法ハ、取引

所ニ依ラナイデ、有價證券ノ賣買ヲ爲ス業者ヲ取締ル法律デアリマスガ、私ハ是等ノ取締ラレル者ヲ、何トカ取引所ノアル所ダケデモ取引所ノ中デ之ヲ取扱ハシムルヤウナコトニ出来ナイモノデアルカ、サウ云フ希望ヲ申述ベテ御意見ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、マア法律ノ改正ナドモアリマセウケレドモ、ソナナ點ハ只今ノ規定ノ上カラ言ウテモ、行政上ノ手段ニ依ッテ大體目的ヲ達成シ得ルト考ヘルノデスガ、ソレニ付テ私ノ愚見ヲ述ベマシテ、大臣ノ御答辯ヲ乞ヒタイト思ヒマス、御承知ノヤウニ我國ハ非常ニ事業ガ發達シマスルノデ、會社ノ設立セラレルモノガ日ニ月ニ増加ラシテ居リマス、是等ノ大キイ會社ノ方ハ、新聞雜誌ナドニドンドン／＼宣傳ラシタリ何カシマスノデ、直グ世間ニ擴ガリ、取引所デモ是ガ華々シク上場サレルヤウナコトニナルノデスガ、小資本會社ト云フモノハ澤山設立セラレテモ、地方ノ新聞ニ小サク廣告スル位ノコトデアリマスカラ、小サナ組織ノ事業會社ハドンナニ有望ナ事業ガアツテモ、ソレハ經營スルコトニ非常ニ苦心ガ要ル、又取引所デ商ヒノ行ハレルモノハ、假令利廻ノ低イモノデモドンドン／＼取引ガアルガ、小サ

イ會社ノヤウナモノハ、假令利廻ガ良クテモ取引ガ出来ナイ、斯ウ云フコトハヤハリ國全體ノ事業ノ上カラ見テ遺憾ニ思フノデス、何トカ小サナ會社ノ株マデモ取引セラレルヤウニシタイモノダト思フ、現在ノ取引所ハ例ノ長期、短期、實物、此三ツニ依ッテ取引ガ行ハレル、併ナガラ是等ハ何レモ大キイ會社デ、サウシテ尙ホ取引所デ取引サレテ居ルモノハ、投機ノ目的ニ依ッテ取引サレルモノガ非常ニ多イヤウニ思フ、併シ實物取引ノ方ハ是ハ實物デスカラ、投機的ニハナラナイノデアリマスガ、ドウモ東京株式取引所ノ狀況ヲ見マシテモ、大體二百万圓以上ノ會社ノ株ガ主ニ扱ハレテ居ル、大體日本ノ會社ノ總數ヲ見マスト二万四千アルデセウ、其中デ百万圓程度以下ノ會社ハ其八〇%位ヲ占テ居ル、然ルニ此大會社ノ方ハ、皆取引所ニ上場サレテ非常ニ惠マレテ居ルケレドモ、八〇%ノ小サイ會社ノモノハ、何モサウ云フ恩惠ニ浴サナイ、是ハ日本ニハナイノデアリマスガ、亞米利加ノ紐育ノ取引所ニハ、別ニ「コール・マーケット」云フモノガアツテ、雜株——色々ノ株ヲ扱ッテ、サウシテ米國ノ企業界ニ大ナル貢獻ラシテ居ル、斯ウ云フヤウナモノガアルノデアリマスガ、何カソレニ類シタヤウナモノ、先程小林君カ

ラ話ガアリマシタガ、今迄ノ現物屋ナルモノハ出鱈目ナ者ガ多イ、全國デ見マシテモ眞面目ナ者ハ二割カ三割程度ノモノデアリマセウ、サウ云フヤウナ者ニ斯ウ云フモノヲ扱ハセル譯ニハ行カスシ、又實際ニ於テサウ云フモノハ扱ッテ居ラナイ、サウ云フ小サナ株ヲ扱ッテモ利益ガ少イ、手数料ニナラヌモノダカラ、サウ云フモノハ自然ニ扱ハナイヤウナコトニナル斯ウ云フコトデアリマスカラ、何トカ政府ノ力デ斯ウ云フモノヲ取扱ハセルヤウナ組織ヲ考ヘタナラバドウガラウカ、ソレデ取引所ヲ設ケル理由ハ色々アリマセウガ、ソレハ澤山ノ株ガ市場ニ集ッテ來ル、サウシテソコニ公定相場ガ出來ルト云フヤウナ、色々ナコトガ大キナ理由ニナッテ居ルノデアリマス、御承知ノ通り現行取引所ノ規定カラ言ヘバ、一都市ニハ一箇所ヨリ取引所ヲ設ケラレナイ、斯ウ云フコトニナッテ所謂獨占ニナッテ居ル、サウナルト小サナ今ノ八〇%ニ當ル小會社ノ株ト云フモノハ扱フ機關ガナイカラ殆ド扱ハナイ、サウスルト何カ茲ニ工夫ラシナケレバナナイ、ソレデ此法律ハ全國デ約一万人カラ場外ノ現物屋ト云フ者ガアル譯デアリマスカ、之ヲ取締ッテ、惡イ者ハ退治スル、斯ウ云フヤウナコトト、一面ニハ確ニ今申上ゲ

タヤウナ範圍ニ入ル株式ノ商ヲ發達セシムル意味ガ、多分ニ含まレテアルノガラウト考ヘルノデアリマス、ドウモ現在デハ此小サナ株ノ動キガナイ、現物屋ノ手ニ依ッテ多少小サナ會社ノ株ガ動イテ居ル、ソレデ之ヲ何トカ改善ラシテ行ク方法ハナイノガラウカ、能ク現物屋ガ一番多クヤリマスコトハ、取次行爲ヲヤル、是ハマダ宜イ方デ、斯ウ云フコトヲヤッテ所謂取引所法ニ觸レル行爲ヲヤルノデアリマスカラ、旁、何トカ今申上ゲタヤウナ缺陷ヲ補フヤウナ所ヲ、少クモ我國トシテ二大取引所——東京、大阪ノ二箇所位ニ之ヲ設ケルヤウナコトハ如何デアリマセウカ、斯ウ云フ特別ノ機關ヲ設ケルト云フコトハ、容易ナコトデハナイデアリマセウガ、茲ニ所謂一段格ノ下ツタ簡易取引所ト云フ制度ヲ設ケテ、サウシテソレニ是等ノ者ヲ收容スル、身許保證金ノヤウナモノデモ、是ハ小林君カラ、サウ低クスルト弊害ガアルト云フヤウナ御話モアリマシタケレドモ、是モ今ノ保證金ヤ積立金ノヤウナ風デナク、之ヲ低メテ、サウシテ何トカ是等ノ業務ニ從事スルコトガ比較的容易ニ出來ルヤウニ、小林君ノ話ニアリマシタヤウニ、資力ノナイ眞面目ナ者ガ斯ウ云フヤウナ關係デ小サナ會社ノ株ヲ扱フ、

所謂新進氣鋭ト申シマスカ、眞面目ニ業務ヲヤツテ、大イニ將來太ラウト云フヤウナ考ヲ持ツ者ヲ之ニ入レルト云フコトニシテ、今ノヤウニ一般取引員ノ保證金ヲ積立金ノ四十万、五十万ト云フモノ、或ハ短期取引ノモノガ約二十万位、其外ニ店ナリ色々ノ費用ト云フコトニナルノデ、僅カノ資力ノ者ニハ是ハ到底出來ナイモノデアリマスルカラ、斯ウ云フモノヲ工夫スルコトガドウダラウカ、或ハ商工當局トシテ、サウ云フヤウニ引下ゲテ行クコトハ、所謂向上ヲサセヨウト云フ意味デ、サウ云フモノヲ拵ヘルノハ宜クナイト考ヘラレルカモ知レマセヌガ、從來ノ色々ノ狀況ヲ見マシテモ、今申上ゲマシタ通り、必シモ金デ以テ、金ガ餘計ナラバソレガ眞面目ニ仕事ヲヤツテ居ルノダト云フ譯ニハ行カナイ、是ハ實際ノ狀況ヲ能ク過去ヲ研究シテ見レバ分ルコトデアリマシテ、ヤハリ要ハ人物ニナッテ來ルノデアリマスカラ、ソレデ何トカサウ云フヤウナ所ニ著眼ヲシテ、サウ云フヤウナモノガ今ノ取引所ノ内デ出來ル、取締法ヲ設ケテ置イテ、一方ソコニ居ル者ハ取締ル、ソレカラ其中デモ第三位程度ノ簡易ナ取引所ノ制度ヲ設ケテ、成ベク之ヲ入ルヤウニシタル、サウスレバ終ヒニハ場外地

ノ取引員ハ居ラナイヤウナコトニナッテ來マス、必ズヤ茲ニ眞面目ニソレガ行ハレルコトニナルダラウト考ヘルノデアリマス、ソレ德斯ウ云フヤウナモノハ、現在ノ取引所ノ内ニ制度ノ上カラ運用上設ケラレルト思フノデアリマス、今ノヤウニ非常ニ高イ資格ヲ以テ、取引所ハ門戸ヲ閉鎖シテシマツテ、他ノ者ト隔離シタヤウナ狀態ニアル、是ハ今申上ゲマスヤウニ、大キナ株ダケヲ扱フノデ、大キナ會社ノ株ダケガ流通シテ、サウシテ百万幾ラ位ノ小サナ會社ノ株ハ殆ド流通ヲシナイヤウナ狀態ヲ改善スルコトニナルダラウ、之ニ對シテ商工當局トシテ、私カラ考ヘルト一石二鳥ト思ヒマスガ、其處ニ居ル者ヲ是デ取締ル、内ニサウ云フモノヲ置イテ、段々資格ヲ審査シテ入レテ行クト云フコトニナレバ、此法案ノ目的ニモ副フコトニナルダラウト思フノデアリマス、之ニ對スル大臣ノ御意見ヲ伺ヒタイ

○吉野國務大臣 色々御意見モアリマスケレドモ、私ハ一體投機ノ效用ト云フコトハ認メナイ方ノ人間デアリマス、取引ト云フモノニハ色々弊害ガ伴フノデアリマス、今御話ノヤウナコトニ付キマシテハ、到底自信ガゴザイマセヌ、サウ云フコトヲヤル意思ハゴザイマセヌ

○高橋委員長代理 此際商工大臣ニ對スル板野君ヨリ御申出ノ補充ノ御質疑ヲ御許シ致シマス

○板野委員 私ハ大臣デモ政府委員デモ宜イノデス、政府ハ御決メニナッテハ居ナイデセウガ、營業保證金ナドモ五千圓ト云フヤウナコトデハナクシテ、モウ少シ所謂嚴選主義ノ趣旨ヲ達スルヤウニ一ツ御留意ヲ願ヒタイト思フ、ソコデ此保證金ハソレトシテ、信用モ益、必要デスガ、信用ト云フ中ニ入ルカモ知レマセヌガ、大體此資産狀態ニ於テハドウ云フ所ニ標準ヲ置カレル御積リデスカ、伺ツテ置キタイ

○吉野國務大臣 保證金ノ問題ニ付テハ、先程モ申シマシタヤウニ能ク考慮致シマス、別ニ法律決メテ譯デハアリマセヌカラ……御趣旨ハ能ク分ツテ居リマス、ソレカラ資産ノ點ニ付テモ、是ハ何万圓ガ宜イカト云フコトモ此處デ申上ゲル譯ニ行キマセヌガ、從來モ唯金ヲ持ッテ來タ場合ト云フノデハ取引ヲ許シテ居リマセヌ、其金ハ數年間ニ互ツテヤツカドウカト云フ立入ツタ調査ヲヤツテ、今御話ノ通り、一万ヤ二万ノ金ハ直グ見セ金ヲ持ッテ來ラレル譯デアルカラ、要スルニ見セ金ト云フコトハ信用シナイ、本當ニ資力信用ガアルト云フコトヲ、是ハ内

輪ノ標準デゴザイマスケレドモ、從來モ相當細カクヤツテ居ルノデ、其方針デ進ミタイト思ヒマス

○板野委員 今ノ資産ノ點ニ付テ政府ノ御考ハ洵ニ結構ダト思ヒマス、實際借リテ持ッテ來ル一時的ノモノト云フノガ現物屋デハナイケレドモ、今迄アツタ、只今ノ大臣ノ御言明ニ依リマシテ、此點洵ニ結構ダト思フ、ソレカラモウ一ツ保證金ニ付テ伺ツテ置キタイト思ヒマスノハ、此案ノ第八條ニ依ツテ營業保證金ニ付テハ、此營業ニ關シ取引ヲ爲シタ者、即チ有價證券業者ノ相手方ガ其取引ニ關シテ違約ノ爲ニ生ジタル違約債權ニ付テハ、此保證金ニ付テ優先權ヲ持ツト云フ規定ニナッテ居ル、是ハ當然ナ話デ結構デスガ、唯其第七條ニハ「有價證券業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ營業保證金ヲ供託スベシ」ト云フ規定ニナッテ、此返還ノ時期ヲ規定シテ居ラス、返還ノ時期ヲ規定シテ居ナイトスレバ、此有價證券業者タル資格ノ終ッタ時、即チ廢業スルトカ、死ンダト云フヤウナ、有價證券業者タル資格ヲ消滅シタ時ニ直チニ返還スベキモノダト云フ、法律上ノ結論ニ達スルモノト思フ、直グ返シテシマツタノデハ、幾ラ優先權ヲ與ヘテ貰ツテモ、其有價證券業者ノ相手方タル違約行爲ノ債

權者ヲ救済スルニ足ラスト云フコトニナル、
ダカラ是ハ如何ナル時ニ返スコトニナルノ
デスカ

○吉野國務大臣 御話ノ通りノコトデゴザ
イマス、ソレデアリマスカラ、是ハ命令ノ
定ムル所ニ依ルトアリマシテ、委任命令ニ
依リマシテ、今ノヤウナ意味ヲ書カウト思
ヒマス

○小林委員 關聯シテ——此現物商ヲ今度
御許シニナル場合ニ、先程ノ御話ノヤウニ無論
警察ニ御照會ニナツテ身元調ヲシテヤラレマ
セウケレドモ、其場合ニ其土地ノ取引所或
ハ取引員組合ニ、斯ウ云フ者ノ信用狀態ハ
ドウダト云フコトヲ御諮問ニナツテ、免許ヲ
サレル一ツノ御參考ニナサルト云フ御考ハゴ
ザイマセスカ、サウ云フコトヲシテ置クコト

ガ、私ハ物事が間違ツ場合ニ、取引所或ハ
取引員組合ニ一ツノ責任ヲ持タスト言ヒマ
スカ、平生カラ商賣ノヤリ方ニ注意ヲセシ
メテ間違ヒヲ起サスト云フ上ニ於テ必要ナ
コトデアラウト思フノデアリマスカ、此點
ニ對シテドウ云フ御考デアリマセウカ

○吉野國務大臣 實ハ正直ニ申上ゲマス
ガ、ソコ迄ノ考ハシテ居リマセヌデシタ
ガ、大變良イ御注意デゴザイマスカラ、其
點モ考ヘテ見タイト思ヒマス

○小林委員 モウ一ツ、サウ云フヤウナコ
トニ御考下サルト云フコトニ進ミマスト、
サウ云フ現物商ト云フ者ヲ、現物取引員ト
云ヒマスカ、實物取引員ハ現在アリマスカ、
何等カノ方法或ハ名義ノ下ニ取引商ニ登用
シテ、之ヲ後見ヲスルト云フヤウナ制度ト
カ、或ハ方法ヲ御考ニナルコトガ宜イト思
フ、是ハ勿論現物商ノ店頭賣買ヲ市場ニ集
中スルト云フコトハ無理ナ註文デアリマス
ケレドモ、大體ニ於テ證券取引ヲ市場ニ集
中セシメルト云フコトハ、一ツノ理想ノ上
カラ必要ナコトダラウト考ヘル、店頭賣買
ノ現物取引ヲ悉ク市場ニ集中セヨト云ッテ
モ出來ルコトデハナイガ、其點ハ如何デス
カ

○吉野國務大臣 私ハ一ツノ理想トシテ、
御考ノヤウナ點ハ將來ノ問題トシテハ考究
シテ宜シイト思フ、唯現狀ノ下ニ於テハ少
シ難カシイト思ヒマス

○小林委員 是ハ理想トシテ將來ニ考ヘル
コトハ結構ダガ、成ベクハ現實ノ問題トシ
テモ、一ツ利害得失ヲ御考究ヲ願フ方宜
イデヤナイカト思フ、ソレカラ今ノコトト
ハ少シ違ツタ問題デアリマスカ、大體私ハ市
場ノ取引ト云フモノハ、現物ノ受渡シト云
フコトヲ基礎トシテヤッテ行ッテ、其上デ清

算化シテ行クト云フコトデナケレバナラス
ト思フ、ソレデ現行法ニ依ル清算取引ハ、
實際上ハ結果カラ已ムナク受渡シヲスルト
云フヤウニ見エルノデアリマスカ、是ハ將
來何等カノ方法デ御修正ナサルヤウナ御考
ハアリマスマイカ

○吉野國務大臣 取引所取引ニ關スル根本
的ノ問題デアリマシテ、サウ云フ御説モ一
ツノ説デゴザイマス、併シ又投機取引其モ
ノニモヤハリ國民經濟上ノ效用ガアルノダ
ト云フ見方モアル譯デアリマス、今此處デ
ドチラガ良イカト云フコトヲ斷定致シマス
ノハ、輕率ダト思ヒマス、後日ノ問題ト致
シマス

○高橋委員長代理 商業組合法 中改正、
有價證券業取締ノ兩法案ニ對スル商工大臣
ヘノ御質疑ハ他ニゴザイマセスカ
〔「ナシ」ト呼フ者アリ〕

○高橋委員長代理 ナシト認メマス、次ニ
保留ニナツテ居リマシタ、他ノ政府委員ヘ
ノ御質疑ヲ御許シ致シマス——鈴木君

○鈴木委員 商業組合法ノ第九條ノ二、〔前
條ノ規定ニ依ル命令アリタル場合ニ於テ行
政官廳取締上必要アリト認ムルトキハ〕云々
ト云フ規定デアリマス、前條ノ規定ト申シ
マスノハ、統制ニ從フベキコトヲ命ジタ場

合ニ、第九條ノ二ガ適用セラレルト云フコ
トデアルトシマスト、協議ガ付イテ、斯ウ
シテ統制シテ行カウデヤナイカト云フヤウ
ナ時ニハ、第九條ノ二ト云フモノハ發動シ
得ナイノデアリマスカ

○新倉政府委員 第九條ノ二ハ〔前條ノ規定
ニ依ル命令アリタル場合ニ於テ〕云々トゴザ
イマスガ、此第九條ノ命令ノ中ニハ、所謂
組合員ニ對スル命令ト、組合員ニアラザル
者ニ對スル命令ト兩方アリマス、第九條ニ
於キマシテ、其組合員ニ對シテ命令ヲ爲
シ、及ビ組合員以外即チ「アウト・サイダー」
ニ對スル命令ト兩方アリマスカラ、前條ノ
規定ニ依ル命令ト云フモノハ、組合員ニ對ス
ルモノト「アウト・サイダー」ニ對スルモノト

兩方ゴザイマス、此點ハ規定上明カナノデ
ゴザイマスガ、只今ノ御質問ハサウ云フ命
令ナシニ、唯業者ガ自治的ニ斯ウ云フ統制
ヲショウト云フダケノ場合ニ、第九條ノ二
ノ發動ガ出來ナイデハナイカ、斯ウ云フ御
質問ダト思ヒマス、規定ハ此處ニアリマス
ル通りニ、業者同志デ斯ウ云フコトヲヤラ
ウト云フダケノ場合ニハ第九條ハ發動シナ
イデモ宜カラウ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リ
マス、實際上此第九條ノ適用ノ必要ニナル
ノハ、先程モ申上ゲマシタヤウニ、組合員

又ハ「アウト・サイダー」ニ對シテ、統制ニ從ハナイ者ガアリサウダカラソレデ命令シタト云フ場合ニ、初メテ此第九條ノ二ニ依リマシテ、當該官吏ガ検査ヲスル必要ガ生ズルモノト考ヘテ居リマス

○鈴木委員 私ハ統制ヲスル場合ニ協議ヲスルガ、其協議ハ必シモ全員一致ト云フ譯デモナシ、多數ニ依ッテヤルヤウナ場合モナイトハ限ラナイと思フ、又表面ハ從フヤウナ顔ラシテ居ッテ、内々不都合ナコトヲシナイトモ限ラナイ、何レニシテモ統制ガ行ハレテ、公益ガ害サレナイカドウカト云フコトヲ明ニスル爲ニ、斯ウ云フ取締、臨檢ナドスルノデハナイカト思ヒマスガ、唯協議ガ付イテ居レバ宜シイト云ウテ安心シテ居レナイ場合モアリマセウ、ドウモ區別スル理由ガハッキリシマセヌガ……

○新倉政府委員 自治的ニヤッテ居リマスル場合ハ、所謂定款ノ規定デ過怠金ト申シマスカ、サウ云フ自治的ノ制裁方法ハアルノデアリマス、例ヘバ自治的ニ決メマシタ事項ニ組合員ガ違反シタト云フ場合ニハ、其組合員ニ對シテ相當ノ過怠金ヲ課スルト云フヤウナコトデ、實際上ハ運用シテ居リマス、ソレデ第九條ノ二ヲ發動致シマスルノハ、サウ云フ自治的ノ制裁ヲ以テシテハ

足リナイト云フヤウナ場合ニ發動スルト云フ意味デ、前條ノ命令ガアッタ場合ダケニ致シタ次第デアリマス

○鈴木委員 命令ガアリマス場合、何レニシテモ組合員ハ從ハナケレバナラナイシ、又從ハナケレバ組合規約ニ依ッテ制裁ヲ受ケルト云フコトハ、一般的ニ規定ガアリハシマセヌカ、自治的ニヤル場合ノミ規定ガアッテ、命令ニ依ッテ從ハナケレバナラヌ時ニ組合規約ニ違背スルト云フヤウナコトニ付テハ、一般的ニ規定ガナイトモ考ヘラレナイノデアリマス、今ノヤウナ御説明デハハ付カナイノデアリマス、兎ニ角統制ヲシテ、公益ヲ害スカ害サヌカト云フコトヲ心配シテハハ發動スル規定デセウ、デアルナラバ廣クヤレバ宜イ、少シ此規定ハ私ハ苛酷デナイカト思フ、犯罪ノ疑デモアル場合ニ或ル所ヘ臨檢スル、帳簿ヲ見ルト云フナラバ、是ハ諒承出來ル、併ナガラ取締ル必要ガアレバ何時デモ行ケルト云フノデハ、犯罪ガナイコトモアルカモ知レヌ、ソレデモ行カウ、斯ウ云フヤウニ見ラレルノデアリマスガ、他ノ法律ノ中ニモ斯ウ云フ規定ガアルサウデスカラ、強ヒテ是ダケニ付テ彼此レ言ヒマセヌガ、ドウカスルト是ハ行過ギテ居ルノデハナイカト

思フ、今ノ御説明デハ少シ分リマセヌ

○新倉政府委員 説明ガ甚ダ拙クテ御分リ下サラヌノハ遺憾デアリマスガ、第九條ノ二ハ御話ノ通りニ、統制命令ガ確保出來ナイヤウナ虞ガアリマス場合ニ、行政官廳ガ必要ト認メル時ハ、當該官吏ヲシテ検査セシムルト云フコトデゴザイマスルカラ、必シモ苛酷ト云フヤウニハ考ヘマセヌ、ト申シマスノハ今申シマシタヤウニ、第九條デ特ニ統制ニ從フベキコトヲ命ジナクテハナラヌト云フヤウナ事態ノアル場合ニ、統制命令ガ發動スルノデアリマスカラ、其發動シタヤウナ状態ニ於テハ、第九條ノヤウナ規定ヲ必要トスル、ソレデ第九條ノ命令ヲ必要トシナイヤウナ自治的ナ場合ニハ、定款等ニ於テ制裁スルト云フコトデ足リルドラウト考ヘラレマス

○高橋委員長代理 他ニ御質問ハアリマセヌカ——ナケレバ之ヲ以テ商業組合法中改正竝ニ有價證券業取締ノ二法案ニ對スル質疑ハ終了致シマシタ、尙ホ簡單ナル御質疑ノアル場合ハ討論前之ヲ許スコトニ致シタイト思ヒマス、次回ハ來ル十七日午前十時ニ開會致シマス、今日ハ之ヲ以テ散會致シマス

午後五時三十分散會

昭和十三年三月十六日印刷

昭和十三年三月十七日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局